#### 研究成果報告書 科学研究費助成事業

今和 6 年 6 月 2 3 日現在

機関番号: 12401

研究種目: 基盤研究(B)(一般)

研究期間: 2020~2023

課題番号: 20H04449

研究課題名(和文)医療実践としての人工妊娠中絶の新たなフレイム構築 出生前検査とのかかわりから

研究課題名(英文)Construction of a new frame for abortion as a medical practice: in relation to prenatal testing

研究代表者

菅野 摂子 (Sugano, Setsuko)

埼玉大学・その他部局等・准教授

研究者番号:60647254

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 8,400,000円

研究成果の概要(和文): 様々な医療施設で働く産婦人科医へのインタビューを行い、出生前検査に対する慎重な姿勢、胎児の疾患が「わかってしまう」ことへの懸念、「異常」を発見して胎児治療に繋げる試みなど、多様な意見および経験を聴取できた。それに伴う胎児の疾患による中絶は、勤務施設や施術経験によっても考え方や対応に差が見られた。地域の公的な医療情報サイトによる母体保護法指定医師の配置の調査では、産婦人科以外がヒットするなど正確な把握は難しいことがわかり、産婦人科のホームページの内容との齟齬も見られた。海外三か国の調査では、リプロダクションや障害のある子どもの養育への政府によるサポートと女性の当事者性 の高さが示された。

研究成果の学術的意義や社会的意義 本研究成果の学術的意義は、産婦人科医の間に出生前検査に対する意見の相違が大きく、検査そのものへの評価もまちまちであると把握できたことである。「妊婦の意思を尊重する」姿勢は共通しているものの、こうした違いは妊婦の意思決定に影響を与えると思われる。中絶を希望し、自身で施設を検索する場合には、アクセスに

大きな課題があることも明らかになった。 調査対象国では、妊娠・出産、場合によっては中絶に対する経済的支援があり、障害のある子どもの養育への サポートが手厚い国もみられた。こうした社会状況は女性や一部の医師などによる運動が関わっていると同時 に、女性の意思決定を支えることが示唆された。

研究成果の概要(英文): Interviews were conducted with obstetricians and gynaecologists working in various medical facilities, and diverse opinions and experiences were heard, including cautious attitudes towards prenatal testing, concerns about 'knowing' foetal diseases, and attempts to detect 'abnormalities' and link them to foetal treatment. The associated abortions due to foetal diseases showed differences in attitudes and responses depending on the facility where they work and their experience of treatment. A survey of the placement of doctors designated under the Maternal Protection Act by local public medical information websites revealed that it was difficult to ascertain the exact number of doctors, with hits for non-obstetricians, and there were also discrepancies with the content of obstetrician and gynaecologist websites. Surveys in three foreign countries showed a high level of government support for reproduction and the care of children with disabilities and the high level of women's partyhood.

研究分野: 社会学

キーワード: 出生前検査 人工妊娠中絶 NIPT 羊水検査 リプロダクティブ・ヘルス / ライツ ドイツ アイルランド オーストラリア

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等に ついては、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

#### 1.研究開始当初の背景

人工妊娠中絶(以下、中絶と記す)については、胎児の生命権か女性の自己決定権か、という生命倫理学をはじめとする学問上の議論が国内外を問わず続いており、日本も例外ではない。日本では、戦後から 1950 年代にかけて多くの中絶が行われた。出生数が約 173 万人だった 1955年には約 117 万件の中絶が実施されたが、その後中絶件数は減少を続け、2022 年は約 12 万件となり、女子千人当たりの中絶実施率も 1955 年当時の 50.2‰から 5.1‰へと激減した。

また、1970年前後には羊水穿刺をすることで胎児の疾患を調べる羊水検査が実用化され、胎児の障害がわかった場合に行われる中絶は選択的あるいは選別的中絶と呼ばれるようになった。産科医療は出生前検査を利用して胎児を直接の観察対象とし、胎児治療や安全な出産方法の選択および先天性疾患を抱える新生児の早期治療などが可能になったが、それと同時に古くから問題とされてきた中絶に再び光があてられるようになり、中絶の新たなフレイムが求められる状況にあった。

# 2.研究の目的

本研究は中絶に対する医療者、特に実際に手術を行う産婦人科医の経験および意識を調べることによって、出生前検査の出現により変容しつつある中絶の問題と課題を明らかにすることを目的する。出生前検査には羊水検査の他、母体血を採取することで胎児の疾患の確率を算出する母体血清マーカーや NIPT、超音波検査も含まれる。さらにその背景となる母体保護法指定医師へのアクセスの容易さなどを把握することで、中絶をめぐって産婦人科医と女性の置かれている状況を俯瞰する。

さらに、中絶への(社会の)抵抗感と出生前検査の位置づけが類似しているものの、臨床現場での医療的対応の異なる海外の国との比較研究を行い、日本の出生前検査と中絶のありようを相対化し、その特徴を明らかにする。

# 3.研究の方法

#### (1) 産婦人科医等へのインタビュー

産婦人科医のインタビューを主として実施した。ジェンダー、勤務先の病院の規模、宗教的背景などが多様になるよう意識しながら、スノーボールサンプリングを使い、慎重にリクルートを続けた。補足的に、助産師と NIPT を受検した女性にもインタビューを行った。

#### (2) 母体保護法指定医師に関する量的調査

厚生労働省の医療機能情報提供制度に準じた医療サイトの検索機能を用いて、母体保護法指定医師が在籍する、と書かれている医療機関をピックアップし、記載されている HP を閲覧して中絶について言及があるか、さらにその言及がどのような内容かを調べた。さらに、指定医師の減少や高齢化など、妊婦が中絶にアクセスしにくい状況になっていないか、全国の3地域(都道府県レベル)の医師会の協力を得て、母体保護法指定医師の人数の変遷などを調べた。

#### (3) 海外との比較研究

カトリック教徒が多く同性婚につづき中絶容認が国民投票で可決されたアイルランド、中絶に対するカウンセリングが義務付けられているドイツ、2019年にすべての州で中絶が合法化されたオーストラリアの三か国で調査を行った。これらの国は中絶への抵抗感が比較的大きいと思われ、他方で出生前検査が個人の選択として実施されている点で日本と類似しているが、現場の医療者や女性たちの思いを尋ね、日本の独自性と一般性を浮き彫りにしようと試みた。

#### 4.研究成果

#### (1) 国内の産婦人科医等へのインタビュー

国内調査で行った産婦人科医は合計 13 名であり、それぞれの属性と調査場所などについては表 1 の通りである。性別(性自認)は女性の方が多く、年齢コーホートの最多は 50 代だった。勤務先の種別は、病院勤務が 8 名、無床診療所が 4 名、有床診療所 1 名だった。出生前検査については、次の 4 グループに分けた。「A:出生前検査を主に取り扱っている」「B:出生前検査を実施し、中期中絶も行っており、本人希望の初期中絶も行う」「C:出生前検査を実施しているが、本人希望の初期中絶は基本的には実施していない」。ないよい」「D:出生前検査は実施していない」。な

The color		表 1 イン	/タビュー[	協力者 (産婦)	人科医)のフ	プロフィール	
D01         40代         男性         無床診療所         あり         zoom         D           D02         60代         女性         病院         あり         zoom         C           D03         50代         女性         無床診療所         あり         zoom         A           D04         30代         男性         無床診療所         なし         zoom         D           D05         50代         男性         病院         なし (以前はあり)         zoom         D           D06         70代         男性         有床診療所         なし         対面         D           D07         50代         女性         病院         あり         zoom         C           D08         60代         女性         無床診療所         あり         zoom         D	ID	年代	性別	勤務先種別			出生前検査
D03     50代     女性     無床診療所     あり     zoom     A       D04     30代     男性     無床診療所     なし     zoom     A       D05     50代     男性     病院     なし (以前はあり)     zoom     D       D06     70代     男性     有床診療所     なし     対面     D       D07     50代     女性     病院     あり     zoom     C       D08     60代     女性     無床診療所     あり     zoom     D	D01	40代	男性	無床診療所			D
D04     30代     男性     無床診療所     なし     zoom     A       D05     50代     男性     病院     なし (以前はあり)     zoom     D       D06     70代     男性     有床診療所     なし     対面     D       D07     50代     女性     病院     あり     zoom     C       D08     60代     女性     無床診療所     あり     zoom     D	D02	60代	女性	病院	あり	zoom	С
D05     50代     男性     病院 (以前はあり)     zoom     D       D06     70代     男性     有床診療所     なし     対面     D       D07     50代     女性     病院     あり     zoom     C       D08     60代     女性     無床診療所     あり     zoom     D	D03	50代	女性	無床診療所	あり	zoom	Α
D05     50代     男性     病院     (以前はあり)     zoom     D       D06     70代     男性     有床診療所     なし     対面     D       D07     50代     女性     病院     あり     zoom     C       D08     60代     女性     無床診療所     あり     zoom     D	D04	30代	男性	無床診療所	なし	zoom	Α
D07     50代     女性     病院     あり     zoom     C       D08     60代     女性     無床診療所     あり     zoom     D	D05	50代	男性	病院		zoom	D
D08         60代         女性         無床診療所         あり         zoom         D	D06	70代	男性	有床診療所	なし	対面	D
	D07	50代	女性	病院	あり	zoom	С
D09         70代         男性         病院         あり         zoom         B	D08	60代	女性	無床診療所	あり	zoom	D
	D09	70代	男性	病院	あり	zoom	В
D10   30代   女性   病院   なし   zoom   C	D10	30代	女性	病院	なし	zoom	С
D11         50代         女性         病院         あり         zoom         B	D11	50代	女性	病院	あり	zoom	В
D12 40代 女性 病院 あり 対面 C	D12	40代	女性	病院	あり	対面	С
D13         50代         女性         病院         あり         zoom         C	D13	50代	女性	病院	あり	zoom	С

お、妊婦健診で実施される超音波検査は出生前検査に含めない。この 13 名には、主に出生前検査と中絶に関する経験と意見を聞いたが、医師としてのキャリアなども属性を補足する意味で尋ねた。その内容の中で重要と思われる項目をまとめて示す。

#### 医師としてのキャリア

産婦人科医になった理由として、親やきょうだいが産婦人科医あるいは他の専門の医師であること、先代より医業に携わってきたことをあげる人が一定数いた。女性の医師のなかには、女性に役立つ仕事であること、外科的な手技が使えることもできて女性の一生に関わりながら幅広い診療ができることを産婦人科の魅力としてあげる人もいた。さらに胎児治療や新生児医療へ繋げる実践について語る医師もいた。

#### 出生前検査の経験と考え方

羊水検査は、他の出生前検査の結果より、追検査が必要となった場合に行う検査と位置付けている場合が多かった。また、羊水検査は胎児だけでなく両親の「染色体異常」がわかる検査であると説明している場合があった。受検時期は 15~16 週になるが、結果を受けて妊娠継続を決めた場合、その後の 20 週を継続できるかどうかを考えること、「異常」があったとしても産むと決めているのであれば受検しないことも選択にあると患者に伝えている医師もいた。

超音波検査は、所属する医療機関が導入している機器により検査の精度が左右されること、また、新しい機器では細かいところまで「見える」「分かってしまう」が、習熟度が低いあるいは経験が浅い場合は問題がない場合も問題があるかのように診断してしまうことへの懸念が述べられた。中期以降は、「今の赤ちゃんが今後どうなっていくのか」の予測を患者に丁寧に伝えるようにしているとした医師がいた。また、患者の夫が超音波検査の画面をともに「見る」ことは愛着形成あるいは父性形成のために良いと評価する医師もいた。

患者自身は「通常の妊婦健診」のつもりで受けたにもかかわらず異常が発見され、羊水検査へと至る例があるとする医師、18 週頃に超音波検査で心臓の血管異常に関するスクリーニングをしているとする医師、NIPT をスクリーニング検査と位置付けることに疑問を呈する医師もいた。超音波検査を専門としている医師の在籍する医療機関では、超音波検査で細部まで調べながらも、羊水検査を受けるか否かを決める一種のスクリーニング検査として超音波検査が機能していた。

遺伝カウンセリングを産科医療から離して提供することや、検査後にのみ提供することに対して、批判的な考えが複数あった。また、解釈の難しい検査結果が出た場合や家族性疾患のある場合は遺伝カウンセラーに任せ、各種検査の受検に関する相談は「お産に寄り添う」助産師や産婦人科医が受けるべきだとする医師もいた。NIPTによって「分かる」のは疾患の一部であるものの検査の普及により「今までに気づかなかったトリソミー」に気付けるようになるため、中期中絶は増えるのではないかとした医師が複数いた。また、NIPTの場合、実施が11週、結果が12週、羊水検査に進む場合は実施が16週、結果が18、19週目になるため「トータルで2ヶ月」の期間ずっと、中絶する可能性のある状態に置かれることを患者に伝えるとする医師もいた。

# 胎児治療・不妊治療

超音波検査によって「異常」を早期発見して胎児治療につなげようと努力する医師、自分は胎児ドックや胎児スクリーニング、胎児治療には関わらないだろうとする医師、胎児治療はできることが限られているのに期待されすぎているとした医師、早期に異常を見つけることによって治療ではなく妊娠中断(中絶)を選択する人たちが増えると気にかけている医師など、産婦人科医のなかでも胎児治療に対する姿勢の多様性が把握できた。

本調査の医師の不妊治療のかかわりは限定的であり、体外受精などの不妊治療を専門とする不妊(治療)クリニックでの妊娠が圧倒的に多いことがうかがえた。その上で、不妊治療によって妊娠した人は胎児の健康についての不安を抱えており、それが出生前検査の受検につながるという指摘や、不妊や不妊治療の経験が妊婦の不安に影響を及ぼしているという指摘があった。年齢については、40歳代の人は出産を決めているために受検しないという傾向を指摘した人もいた。また30歳代前半はNIPTの費用が高いために、非侵襲的で費用が安価なクアトロテストを希望するという指摘もあった。NIPTを35歳以上の人に限ることについて、年齢依存の胎児の病気や異常は、胎児染色体のトリソミーやモノソミーに限られるため、トリソミーに対する偏見が助長され、年齢の基準を設けることも一つのレッテルをつくっているので、35歳以上だけに(NIPTによって)スクリーニングするのはやめたほうが良いと述べた医師もいた。

# 出生前検査と家族

医師は、夫婦での決断や協力して決定することを重視していた。可能なかぎり夫も巻き込むことで、妊娠中の不安や負担を妊婦一人に負わせることがないよう、医師としてはカップルにかかわりをもち、働きかけをしていた。中絶の配偶者同意については、基本的には撤廃に賛成の医師が多いが、一方で、躊躇もみられた。リプロダクティブライツ(生殖に関する権利)については大前提としつつも、DV 等の例外をのぞき、夫婦の子供である以上、パートナーの意向も重要だと考えている医師が多かった。出生前検査後の意思決定については、女性の意思決定を大前提としつつも、積極的に夫に生殖プロセスに関与させようとする姿勢が強調された。他方で、夫の理解不足や想像力の不足への批判的言及もみられた。超音波検診で、胎児を夫にみせることで当事者であることを意識化させる工夫をしていることを強調する医師も複数名みられた。

# 障害

患者には実際に障害のある子どもに接している人はほとんどいない、検査でわかる病気はわずかであり、成人してから判明したり発症するものもあるため「生まれてきて顔を見ればその子どもが持っている病気は許容でき、顔を見なければ許容できない」ことに「もやもや」すると同時に「仕方がない」とした医師もいた。

障害のある子どもの成長については、産婦人科医は 1 ヶ月健診で子どもとの関係が途切れるが、かつて小児科が同じ施設内にある病院に勤めていた時期に、院内で寝たきりで大きくなった子どもが家族の一員として大切に育てられる様子を見て、自分は驕っていたと語った医師、障害のある子どもを持つ母親の会での様子から「一度しかない人生を生きるということの意味を考えさせられる」と述べた医師がいた。優生思想に関しては、「疾患を持った子どもを選択的に生まれさせないので、優生思想という批判は当然当たる。ただ個人個人の選択においては強く制限するべきではない」との考えや、「次世代シークエンサーが開発され、遺伝子変異は誰でも持っていると分かった。これをこれからの教育で伝えていくことが必要」との考えが示された。また「NIPT は先天性疾患のごく一部をターゲットにした検査という時点で倫理的ではない、優生思想である」とした医師もいた。

# 医師と患者

検査結果の待ち時間が不安や心配を引き起こすこと、検査でわかることの限界、精神的なサポートの必要性、医師と患者のコミュニケーション、高齢出産の増加に伴うリスク、夫の同席の重要性などが言及された。また、患者とのコミュニケーションにおいて患者が直面する倫理的・心理的な葛藤や、選択の難しさについて語られた。それぞれの医師は明確に自身の考えを述べたが、結論としては、医師の役割は患者とのコミュニケーションを通じて選択肢を提供し、患者が最終的な決定をする際にサポートすることが強調されていた。

#### 中絶

胎児要件による中絶の実施については、医師が勤務している医院によって、施術の経験、対応に差があった。開業医では妊娠初期で経済的理由を適用し、大学病院については妊娠中期で母体の合併症等での実施経験が共通していた。胎児要件の中絶ができないことについて、胎児の障害の種類や重篤度・予後生命に考慮がないことへの疑問や、実際とは常に乖離した要件の適用が公表されていくのは本当の議論にもつながりにくい、と言及する声もあった。手技については、妊娠週数によって手技をかえている医師が多い。掻爬法が主流であることについて、病理検査の標本採取、流産の手術にも必要なので直視下での外科手術は医師が習得しておくべき最低限の技術、という見解もあった。中絶手術の説明は提供されているが、すでに意思決定を行っている方には実施時にあらためてしない、など医師の考え方によって対応の差があった。出生前診断の結果・対応の伝え方や、妊婦の精神的なケアにいかに配慮すべきかの課題を感じている医師も多い。また、中期中絶については、関わった中期中絶のすべてが染色体異常だったという発言がある一方で、アクセス面での課題が共通して語られた。中期中絶の経済的理由の適応は、医学的適応だけ行う大学病院では実施されず、開業医でも手間やリスクが大きく、中絶のベッドが割けないばかりか、隣で産声や祝福の声を聞こえるので、妊婦が非常に気の毒な状況になる、という意見もあった。

中絶薬については産婦人科の診療を前提にした導入を肯定する意見が多くあり、女性にとってメリットこそあれデメリットはないという賛成派の声もあった。この他、妊婦のおかれた状況や社会背景の関連からの関心・意見も多く出されており、なかには医師会の体制への批判もあった。

#### 妊娠・出産全般

出生前検査ではなく妊婦健診の超音波検査によって胎児の疾患や異常が見つかるときがある。そのようなときに、医師は妊婦にいかに情報を提供するのだろうか。これについては、その医療機関がいずれの出生前検査を実施しているか、臨床遺伝専門医や遺伝カウンセラーがいるか、遺伝カウンセリングの内容、その医療機関の地政学的な位置と妊婦の社会経済的な状況などによって、状況がかなり異なることがわかった。また、刑法堕胎罪、優生保護法、母体保護法に対する考えは、さまざまであった。

#### 補足:その他のインタビュー

2 名の助産師の調査では、両者とも妊婦を理解しようとする姿勢が強く、出生前検査と中絶についても妊婦に寄り添った意見が聞かれた。長らく助産師として働き、教育にも携わってきたM01 さんは、病院の産科の助産師は中絶に関わる機会が少ないこと(それにもかかわらず出生前検査には携わる)、妊婦の出産に向かう気持ちは診療所と病院では異なるのではないか、夫との

shared decision makingをして欲しいことなど、経験を踏まえて語った。他方で、海外で助産師として活動する MO2 さんは、当該国では助産師の権限が大きいこと、胎児のスクリーニングは無料のコンバインドテストだが、それは 60%くらいしか受けないこと、妊娠中の検査の受検や出産する場所、出産後の子育てが「あなた次第である」ことを妊婦に伝える大切さなどを語った。夫は妻の意思決定を支える立場であるという見方であった。

女性へのインタビューでは、W01 さんが NIPT の受検は海外で仕事をする夫とのやりとりが非常に困難で意思疎通が難しかったことや、出産後の生活が厳しいと見込まれる人にこそ出生前検査が必要なのではないか、と訴えた。妊娠・出産全般においても、当事者である女性の意見が反映されていないのではないか、と語った。W02 さんは、不妊治療を経ての妊娠であり、夫と合意して NIPT を受けることにしたが、もし陽性だったらどうするか、という点では意見が一致せず、結果が陰性だったので、そのままきてしまった、ということであった。出生前検査における意思決定の難しさを語った。

#### (2) 母体保護法指定医師に関する量的調査

2021年6月から2022年2月10日まで、厚生労働省の医療機能情報提供制度のもと各都道府県が公開している医療情報サイトの検索機能を用いて,母体保護法指定医師が配置されていると書かれている医療施設を検索したところ、休診を除外して4654施設がヒットした。産婦人科/産科/婦人科(以降、産婦人科等と記す)を標榜している施設でもっとも多いのは東京都414施設、大阪府が第2位で333施設、続いて神奈川県が247施設だったが、産婦人科等以外の診療科、例えば内科、外科、歯科などを標榜している診療科を含めると、大阪府が549施設と1位になった。母体保護法指定医師は、産婦人科での実施経験などの条件を満たさなければ取得できない。他の診療科、特に免許の種類の異なる歯科が混入していることは大きな問題である。また、実際に施設のホームページを見てみると、73%の施設に情報がなかったり、逆に「中絶手術は行っていない」などと書かれていた。中期中絶に至っては、中期中絶の情報が書かれているのは4%、手術の実施が明記されているのは3%であった。公的な医療情報提供システムでありながら、母体保護法指定医師の把握自体が正確とは言えず、アクセスの悪さが明らかになった。

また、3 地域における母体保護法指定医師の 10 年間の増減だが、人口の多い地域 A は 10%の増加、地域 B は 6.5%の減少、地域 C も 6%の減少であった。増加している地域 A において、20 代はゼロ、30 代は約 130 人であり、70 代以上の約 90 人より少ないものの、40 代、50 代、60 代のいずれに比べても少なかった。

# (3) 海外調査(ドイツ、アイルランド、オーストラリア) ドイツ

2022 年 10 月 4 日~10 月 14 日、滞在場所はベルリン都市州各所で 8 名にインタビューを行った。産婦人科医(専門医取得中を含む)はそのうち 4 名で、その他非営利シンクタンクのフェミニズムアドバイザー、訪日経験のあるフェミニスト(大学名誉教授)連邦平等基金代表(2名)であった。出生前検査や中絶は一定の条件下では無料で提供される可能性もある。当時有料であった NIPT も翌年 7 月には無料との予定であり、受検については日本のような問題意識は見られなかった。むしろ、中絶自体が政治的な争点であるドイツは、医師に対する中絶の広告禁止の項目(情報提供の禁止)が撤廃される法律の変更があり、フェミニストによってその撤廃の議論にもつながる人工妊娠中絶法制の刑法からの削除が訴えられていた。

# アイルランド

2023 年 3 月 10 日~14 日、滞在場所は首都ダブリンで 9 名 ( 研究者 3 名、医師 2 名、看護師 1 名、胎児の致死的な障害を理由とした中絶経験者のグループの代表 1 名、女性障害者グループの代表 1 名、専業主婦 1 名 ) 帰国してから zoom で 2 名、合計 11 名のインタビューを行った。2018年の憲法改正によりアイルランドでは中絶が可能になったが、1980年代から続く草の根の市民運動が若い世代と合流し、「対話」や「体験の共有」などをキー概念として運動を作り上げたことが背景にあると語られた。また、合法化後の課題には、妊娠 10~12週までの産科病院での中絶へのアクセスに医師不足等の課題があるとの指摘があった。

# オーストラリア

2024年2月4日~11日、滞在場所はアデレードで16名にインタビューを行った。内訳は、看護師10名、医師2名、栄養士1名、市民2名、人文系研究者1名であった。オーストラリアはハーモニーテストという超音波検査と母体血清マーカー検査を組み合わせた検査が無料で行われているがNIPTは有料である。ハーモニーテストは多くの女性がルーチンで受けており、それに対する戸惑いや陽性だった場合の意思決定の困難を示したのは、クリスチャンの看護師と稀少疾患のある子どもを育てる2名のナースであった。他の人々は、出生前検査の受検や選択的中絶はあくまで個人の選択であると語っていた。その背景には、障害のある子どもを育てる家庭への継続的な経済的支援などの公的なサービスが充実していることが挙げられた。

# 5 . 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計38件(うち査読付論文 11件/うち国際共著 1件/うちオープンアクセス 18件)

1.著者名 管野摂子	4.巻 43
2.論文標題	5 . 発行年
中期中絶の問題性	2024年
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
立教社会福祉研究	3-11
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 管野摂子	<b>4</b> .巻 51
2.論文標題	5 . 発行年
「女性の健康」の隘路とフェムテック	2023年
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
現代思想5月号	58-67
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名	4.巻
二階堂祐子・柘植あづみ	162
2 . 論文標題	5 . 発行年
アイルランドの中絶合法化運動に見る多様なアクターと社会的政治的課題	2024年
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
明治学院大学社会学・社会福祉学研究	195-229
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1 . 著者名	<b>4</b> . 巻
洪 賢秀、小門 穂、柘植 あづみ	33(1)
2.論文標題	5 . 発行年
提供卵子による生殖補助医療の経験における迷いと悩み Webアンケート調査結果より	2023年
3.雑誌名 生命倫理	6.最初と最後の頁 79092
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

4. ##4	4 44
1 . 著者名	4 . 巻
柘植あづみ	11
2 . 論文標題	5 . 発行年
出自を知る権利 提供精子によって築かれた親子関係と社会課題	2023年
	,
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
雑誌『世界』	141-146
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
カープラックとかくはない、人はカープファックとカル四衆	<del>-</del>
1.著者名	4 . 巻
齋藤圭介	21
2.論文標題	5.発行年
会員文献紹介『射精責任』	2023年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
国際ジェンダー学会誌	133
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
生。 佐野敦子	22
性野教士	22
2.論文標題	5 . 発行年
ドイツにおけるリプロダクティブ・ヘルス&ライツをめぐる医療実践と課題-人工妊娠中絶をめぐる医師	2024年
の語りから	
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
21世紀社会デザイン研究	
21世紀社会デリイン研究	81-95
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
	<i>-</i> ***
オープンアクセス	国際共著
	<b>当</b>
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
佐野敦子	25
2 . 論文標題	5.発行年
·····	
アフター・メルケルのジェンダー平等推進ー連立政権が掲げた交差的フェミニズムの課題は何か	2024年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
立教大学ジェンダーフォーラム年報	91-104
担動会立のDOL ( ごごカリナブごテカ L 逆則 Z )	本性の方無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
	4111
なし	無
なし	<b>#</b>
オープンアクセス	国際共著

1.著者名	4 . 巻
二階堂祐子	43
	<del>10</del>
2.論文標題	5 . 発行年
アイルランド共和国における妊娠中断規制法の成立とリプロダクティブ・ヘルスをめぐる国民投票運動	2024年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
** *** * *	
エール : アイルランド研究	32-38
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
4 ***	4 244
1.著者名	4 . 巻
佐野敦子,菅野摂子	39巻
2 . 論文標題	5 . 発行年
······	
ドイツの出生前検査における情報提供の課題 NIPT(Non Invasive Prenatal genetic Testing)の保険適	2023年
用をめぐるアクティビストの語りから	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
東京大学大学院情報学環 情報学研究 調査研究編	1-42
ネック・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・	1 - 42
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
	71X
オープンアクセス	国際共革
	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
	_
1 . 著者名	4 . 巻
佐野敦子	21
2.論文標題	5.発行年
新政権の公約からみるドイツのリプロダクティブ・ヘルス / ライツの方向性 「中絶は罪」を前提とした	5 . 発行年 2023年
新政権の公約からみるドイツのリプロダクティブ・ヘルス / ライツの方向性 「中絶は罪」を前提とした 議論と相談体制を見据えた考察	2023年
新政権の公約からみるドイツのリプロダクティブ・ヘルス / ライツの方向性 「中絶は罪」を前提とした 議論と相談体制を見据えた考察 3.雑誌名	2023年 6 . 最初と最後の頁
新政権の公約からみるドイツのリプロダクティブ・ヘルス / ライツの方向性 「中絶は罪」を前提とした 議論と相談体制を見据えた考察	2023年
新政権の公約からみるドイツのリプロダクティブ・ヘルス / ライツの方向性 「中絶は罪」を前提とした 議論と相談体制を見据えた考察 3.雑誌名	2023年 6 . 最初と最後の頁
新政権の公約からみるドイツのリプロダクティブ・ヘルス / ライツの方向性 「中絶は罪」を前提とした 議論と相談体制を見据えた考察 3.雑誌名	2023年 6 . 最初と最後の頁
新政権の公約からみるドイツのリプロダクティブ・ヘルス / ライツの方向性 「中絶は罪」を前提とした 議論と相談体制を見据えた考察 3.雑誌名 21世紀社会デザイン研究	2023年 6 . 最初と最後の頁 19-31
新政権の公約からみるドイツのリプロダクティブ・ヘルス/ライツの方向性 「中絶は罪」を前提とした 議論と相談体制を見据えた考察 3.雑誌名 21世紀社会デザイン研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2023年 6.最初と最後の頁 19-31 査読の有無
新政権の公約からみるドイツのリプロダクティブ・ヘルス / ライツの方向性 「中絶は罪」を前提とした 議論と相談体制を見据えた考察 3.雑誌名 21世紀社会デザイン研究	2023年 6 . 最初と最後の頁 19-31
新政権の公約からみるドイツのリプロダクティブ・ヘルス/ライツの方向性 「中絶は罪」を前提とした 議論と相談体制を見据えた考察 3.雑誌名 21世紀社会デザイン研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2023年 6.最初と最後の頁 19-31 査読の有無
新政権の公約からみるドイツのリプロダクティブ・ヘルス/ライツの方向性 「中絶は罪」を前提とした 議論と相談体制を見据えた考察 3.雑誌名 21世紀社会デザイン研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2023年 6.最初と最後の頁 19-31 査読の有無
新政権の公約からみるドイツのリプロダクティブ・ヘルス / ライツの方向性 「中絶は罪」を前提とした 議論と相談体制を見据えた考察  3.雑誌名 21世紀社会デザイン研究  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	2023年 6.最初と最後の頁 19-31 査読の有無 無
新政権の公約からみるドイツのリプロダクティブ・ヘルス / ライツの方向性 「中絶は罪」を前提とした 議論と相談体制を見据えた考察 3.雑誌名 21世紀社会デザイン研究 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	2023年 6.最初と最後の頁 19-31 査読の有無 無
新政権の公約からみるドイツのリプロダクティブ・ヘルス/ライツの方向性 「中絶は罪」を前提とした 議論と相談体制を見据えた考察  3.雑誌名 21世紀社会デザイン研究  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2023年 6.最初と最後の頁 19-31 査読の有無 無 国際共著
新政権の公約からみるドイツのリプロダクティブ・ヘルス/ライツの方向性 「中絶は罪」を前提とした 議論と相談体制を見据えた考察  3.雑誌名 21世紀社会デザイン研究  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2023年 6.最初と最後の頁 19-31 査読の有無 無 国際共著 -
新政権の公約からみるドイツのリプロダクティブ・ヘルス/ライツの方向性 「中絶は罪」を前提とした 議論と相談体制を見据えた考察 3.雑誌名 21世紀社会デザイン研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2023年 6.最初と最後の頁 19-31 査読の有無 無 国際共著
新政権の公約からみるドイツのリプロダクティブ・ヘルス/ライツの方向性 「中絶は罪」を前提とした 議論と相談体制を見据えた考察  3.雑誌名 21世紀社会デザイン研究  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2023年 6.最初と最後の頁 19-31 査読の有無 無 国際共著 -
新政権の公約からみるドイツのリプロダクティブ・ヘルス/ライツの方向性 「中絶は罪」を前提とした 議論と相談体制を見据えた考察         3.雑誌名 21世紀社会デザイン研究         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし         オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)         1.著者名 三枝七都子,武内今日子,石黒眞里,菅野摂子	2023年 6.最初と最後の頁 19-31 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 20
新政権の公約からみるドイツのリプロダクティブ・ヘルス/ライツの方向性 「中絶は罪」を前提とした 議論と相談体制を見据えた考察 3.雑誌名 21世紀社会デザイン研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 三枝七都子,武内今日子,石黒眞里,菅野摂子	2023年 6.最初と最後の頁 19-31 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 20 5.発行年
<ul> <li>新政権の公約からみるドイツのリプロダクティブ・ヘルス/ライツの方向性 「中絶は罪」を前提とした議論と相談体制を見据えた考察</li> <li>3.雑誌名 21世紀社会デザイン研究</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし         <ul> <li>オープンアクセス</li></ul></li></ul>	2023年 6.最初と最後の頁 19-31 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 20
新政権の公約からみるドイツのリプロダクティブ・ヘルス/ライツの方向性 「中絶は罪」を前提とした 議論と相談体制を見据えた考察 3.雑誌名 21世紀社会デザイン研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 三枝七都子,武内今日子,石黒眞里,菅野摂子 2.論文標題 母体保護法指定医師へのアクセシビリティーー医療機能情報提供制度を用いた保体保護法指定医師が配置されている医療施設の調査	2023年 6.最初と最後の頁 19-31  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 20 5.発行年 2022年
新政権の公約からみるドイツのリプロダクティブ・ヘルス/ライツの方向性 「中絶は罪」を前提とした 議論と相談体制を見据えた考察  3.雑誌名 21世紀社会デザイン研究  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 三枝七都子,武内今日子,石黒眞里,菅野摂子  2.論文標題 母体保護法指定医師へのアクセシビリティーー医療機能情報提供制度を用いた保体保護法指定医師が配置	2023年 6.最初と最後の頁 19-31 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 20 5.発行年
新政権の公約からみるドイツのリプロダクティブ・ヘルス/ライツの方向性 「中絶は罪」を前提とした 議論と相談体制を見据えた考察 3.雑誌名 21世紀社会デザイン研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 三枝七都子,武内今日子,石黒眞里,菅野摂子 2.論文標題 母体保護法指定医師へのアクセシビリティーー医療機能情報提供制度を用いた保体保護法指定医師が配置されている医療施設の調査 3.雑誌名	2023年 6.最初と最後の頁 19-31  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 20 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁
新政権の公約からみるドイツのリプロダクティブ・ヘルス/ライツの方向性 「中絶は罪」を前提とした 議論と相談体制を見据えた考察 3.雑誌名 21世紀社会デザイン研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 三枝七都子,武内今日子,石黒眞里,菅野摂子 2.論文標題 母体保護法指定医師へのアクセシビリティーー医療機能情報提供制度を用いた保体保護法指定医師が配置されている医療施設の調査	2023年 6.最初と最後の頁 19-31  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 20 5.発行年 2022年
新政権の公約からみるドイツのリプロダクティブ・ヘルス/ライツの方向性 「中絶は罪」を前提とした 議論と相談体制を見据えた考察 3.雑誌名 21世紀社会デザイン研究  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 三枝七都子,武内今日子,石黒眞里,菅野摂子  2.論文標題 母体保護法指定医師へのアクセシビリティーー医療機能情報提供制度を用いた保体保護法指定医師が配置 されている医療施設の調査  3.雑誌名	2023年 6.最初と最後の頁 19-31  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 20 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁
新政権の公約からみるドイツのリプロダクティブ・ヘルス/ライツの方向性 「中絶は罪」を前提とした 議論と相談体制を見据えた考察 3 . 雑誌名 21世紀社会デザイン研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 三枝七都子,武内今日子,石黒眞里,菅野摂子 2 . 論文標題 母体保護法指定医師へのアクセシビリティーー医療機能情報提供制度を用いた保体保護法指定医師が配置 されている医療施設の調査 3 . 雑誌名 国際ジェンダー学会誌	2023年 6.最初と最後の頁 19-31  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 20 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 165-175
新政権の公約からみるドイツのリプロダクティブ・ヘルス/ライツの方向性 「中絶は罪」を前提とした 議論と相談体制を見据えた考察 3.雑誌名 21世紀社会デザイン研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 三枝七都子,武内今日子,石黒眞里,菅野摂子 2.論文標題 母体保護法指定医師へのアクセシビリティーー医療機能情報提供制度を用いた保体保護法指定医師が配置されている医療施設の調査 3.雑誌名	2023年 6.最初と最後の頁 19-31  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 20 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁
新政権の公約からみるドイツのリプロダクティブ・ヘルス/ライツの方向性 「中絶は罪」を前提とした 議論と相談体制を見据えた考察 3 . 雑誌名 21世紀社会デザイン研究 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 三枝七都子,武内今日子,石黒眞里,菅野摂子 2 . 論文標題 母体保護法指定医師へのアクセシビリティーー医療機能情報提供制度を用いた保体保護法指定医師が配置 されている医療施設の調査 3 . 雑誌名 国際ジェンダー学会誌	2023年 6.最初と最後の頁 19-31  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 20 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 165-175  査読の有無
新政権の公約からみるドイツのリプロダクティブ・ヘルス/ライツの方向性 「中絶は罪」を前提とした 議論と相談体制を見据えた考察 3 . 雑誌名 21世紀社会デザイン研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 三枝七都子,武内今日子,石黒眞里,菅野摂子 2 . 論文標題 母体保護法指定医師へのアクセシビリティーー医療機能情報提供制度を用いた保体保護法指定医師が配置 されている医療施設の調査 3 . 雑誌名 国際ジェンダー学会誌	2023年 6.最初と最後の頁 19-31  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 20 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 165-175
新政権の公約からみるドイツのリプロダクティブ・ヘルス/ライツの方向性 「中絶は罪」を前提とした 議論と相談体制を見据えた考察 3 . 雑誌名 21世紀社会デザイン研究  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 三枝七都子, 武内今日子, 石黒眞里, 菅野摂子  2 . 論文標題 母体保護法指定医師へのアクセシピリティーー医療機能情報提供制度を用いた保体保護法指定医師が配置 されている医療施設の調査  3 . 雑誌名 国際ジェンダー学会誌  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	2023年 6.最初と最後の頁 19-31  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 20 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 165-175  査読の有無 有
新政権の公約からみるドイツのリプロダクティブ・ヘルス/ライツの方向性 「中絶は罪」を前提とした 議論と相談体制を見据えた考察 3 . 雑誌名 21世紀社会デザイン研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 三枝七都子,武内今日子,石黒眞里,菅野摂子 2 . 論文標題 母体保護法指定医師へのアクセシビリティーー医療機能情報提供制度を用いた保体保護法指定医師が配置されている医療施設の調査 3 . 雑誌名 国際ジェンダー学会誌 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	2023年 6.最初と最後の頁 19-31  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 20 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 165-175  査読の有無
新政権の公約からみるドイツのリプロダクティブ・ヘルス/ライツの方向性 「中絶は罪」を前提とした 議論と相談体制を見据えた考察 3 . 雑誌名 21世紀社会デザイン研究 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 三枝七都子,武内今日子,石黒眞里,菅野摂子 2 . 論文標題 母体保護法指定医師へのアクセシビリティーー医療機能情報提供制度を用いた保体保護法指定医師が配置されている医療施設の調査 3 . 雑誌名 国際ジェンダー学会誌 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	2023年 6.最初と最後の頁 19-31  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 20 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 165-175  査読の有無 有

1. 音音名	日本	. ***	. 11
2 . 論文楼整 NIPT (は侵襲的出生前遺伝学的検査)の領珠が用をめぐる議論 私たちが関連医学会に提高を送付した理 2023年	2 . 新文標題 NIFT # 保製的出生前遺伝学的検査)の臨床応用をめぐる講論 私たちが関連医学会に提音を送付した理 2023年 3 . 創証名 前指語文のDOI(デジタルオブジェクト選別子) なし オープンアクセス 1 . 著者名 声野由利子、大幅由番子、柘植あづみ 2 . 請文標題 (全性保護法への「改正」におけるリブロダクティブ・ヘルス / ライツをめぐる攻防 堂 4 . 走 161 2 . 請文標題 (全性保護法への「改正」におけるリブロダクティブ・ヘルス / ライツをめぐる攻防 堂 72023年 3 . 創証名 明治学院大学社会学・社会保祉学研究		_
NIPT (主使要的出生前遺伝学的検査)の商床応用をめぐる議論 私たちが管連医学会に提言を送付した理   2022年   17-35   1818年   1818年	NIPT (非後襲的出生前遺伝学的検査)の臨床応用をめぐる議論 私たちが関連医学会に提音を送付した理   2023年   3. 輸送名   6. 最初と最後の頁   17-35   17-35   17-35   17-35   18-35	柏植あつみ、齋藤有紀子	53
NIPT (主使要的出生前遺伝学的検査)の商床応用をめぐる議論 私たちが管連医学会に提言を送付した理   2022年   17-35   1818年   1818年	NIPT (非後襲的出生前遺伝学的検査)の臨床応用をめぐる議論 私たちが関連医学会に提音を送付した理   2023年   3. 輸送名   6. 最初と最後の頁   17-35   17-35   17-35   17-35   18-35		
曲	日 3	2.論文標題	5.発行年
3 - 削試名 明治学院大学社会学部付属研究所研究所年報	3 . 制証名 明治学院大学社会学部付展研究所研究所年報 月報額は2000(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著書名 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	NIPT(非侵襲的出生前遺伝学的検査)の臨床応用をめぐる議論 私たちが関連医学会に提言を送付した理	2023年
明治学院大学社会学部付属研究所研究所年報	明治学院大学社会学部付展研究所研究所年報 17-35		•
明治学院大学社会学部付属研究所年報	明治学院大学社会学部付展研究所研究所年報 17-35	• •	6 最初と最後の百
掲載論文のDDI(デジタルオブジェクト識別子)なし	接続の有無 無		
### ### ### ### #####################	## オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 - オープンアクセスとしている(また、その予定である) コーズンアクセスとしている(また、その予定である) コーズンアクセスとしている(また、その予定である) コーズンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) コーズンアクセス コーズンアクセスとしている(また、その予定である) コーズンアクセス コーズンアクセス コーズンアクセスが困難 コーズンアクセスが困難 コーズンアクセス コーズンアクセスが困難 コーズンアクセスが困難 コーズンアクセスが困難 コーズンアクセスが困難 コーズンアクセスが困難 コーズンアクセス コーズンアクセスが困難 コーズンアクセス コーズンアクセス コーズンアクセス コーズンアクセス コーズンアクセス コーズンアクセス コーズンアクセス 国際共著 電話の有無 無 コーズンアクセス 国際共著	明治学院大学在安学部的属研先所研先所中報	17-35
### ### ### ### #####################	## オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 - オープンアクセスとしている(また、その予定である) コーズンアクセスとしている(また、その予定である) コーズンアクセスとしている(また、その予定である) コーズンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) コーズンアクセス コーズンアクセスとしている(また、その予定である) コーズンアクセス コーズンアクセス コーズンアクセスが困難 コーズンアクセスが困難 コーズンアクセス コーズンアクセスが困難 コーズンアクセスが困難 コーズンアクセスが困難 コーズンアクセスが困難 コーズンアクセスが困難 コーズンアクセス コーズンアクセスが困難 コーズンアクセス コーズンアクセス コーズンアクセス コーズンアクセス コーズンアクセス コーズンアクセス コーズンアクセス 国際共著 電話の有無 無 コーズンアクセス 国際共著		
### ### ### ### #####################	## オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 - オープンアクセスとしている(また、その予定である) コーズンアクセスとしている(また、その予定である) コーズンアクセスとしている(また、その予定である) コーズンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) コーズンアクセス コーズンアクセスとしている(また、その予定である) コーズンアクセス コーズンアクセス コーズンアクセスが困難 コーズンアクセスが困難 コーズンアクセス コーズンアクセスが困難 コーズンアクセスが困難 コーズンアクセスが困難 コーズンアクセスが困難 コーズンアクセスが困難 コーズンアクセス コーズンアクセスが困難 コーズンアクセス コーズンアクセス コーズンアクセス コーズンアクセス コーズンアクセス コーズンアクセス コーズンアクセス 国際共著 電話の有無 無 コーズンアクセス 国際共著		
オーブンアクセス       国際共著         1 . 著名名	オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 芦野山利子、大橋山西子、柘植あづみ  2. 論文程照 優生保護法から母体保護法への「改正」におけるリプロダクティブ・ヘルス/ライツをめぐる攻防 堂 木柄子元参議院議員に聴く 3. 報話名 明治学院大学社会学・社会福祉学研究  提戴論文の001(デジタルオプジェクト週別子) なし  1. 著者名 柘植あづみ  2. 論文権題 セングケアラーと出生前検査の調査が可視化する「閉じた家族」  3. 雑誌名 現代思想  長戦論文の001(デジタルオプジェクト週別子) なし  1. 著者名 第一方ンアクセス  1. 著者名 第一方ンアクセス  1. 著者名 第一方シアクセス  1. 著名名 第一方シアクセス  1.	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
1 ・ 著者名	オープンアクセスとしている(また、その予定である)   1 番名名   161	なし	無
1 ・ 著者名	オープンアクセスとしている(また、その予定である)   1 番名名   161		
1 ・ 著者名	オープンアクセスとしている(また、その予定である)   1 番名名   161	オープンアクセス	国際共著
1 . 著名名	1 ・著名名	オープンアクセスとしている(また、その予定である)	
## 161    2 - 論文標題	声野由利子、大橋由香子、柘植あづみ     161       2 . 論文標題 慢生保護法から母体保護法への「改正」におけるリプロダクティブ・ヘルス/ライツをめぐる攻防 学 本院子元参議的議員に聴く     5 . 幾行年 2023年       3 . 稼誌石 明治学院大学社会学・社会福祉学研究     6 . 最初と最後の頁 291・320       掲載論文のDOD1(デジタルオブジェクト識別子) なし     直際共著 -       オーブンアクセス     国際共著 50       1 . 著書名 杯植あづみ     4 . 整 50       2 . 論文標題 ヤングケアラーと出生前検査の調査が可視化する「閉じた家族」     5 . 幾行年 2022年       3 . 雜誌名 現代思想     6 . 最初と最後の頁 155・164       掲載論文のDOD1(デジタルオブジェクト識別子) なし     重読の有無 無       1 . 著書名 齋藤圭介     4 . 整 35       2 . 論文標題 解題「理論という実践」     5 . 幾行年 2022年       3 . 雜誌名 年報社会学論集     6 . 最初と最後の頁 1-4       掲載論名学論集     6 . 最初と最後の頁 1-4       オープンアクセス     重読の有無 無       オープンアクセス     国際共著	7 John Fencioral ( & R. Conte (	_
## 161    2 - 論文標題	声野由利子、大橋由香子、柘植あづみ     161       2 . 論文標題 慢生保護法から母体保護法への「改正」におけるリプロダクティブ・ヘルス/ライツをめぐる攻防 学 本院子元参議的議員に聴く     5 . 幾行年 2023年       3 . 稼誌石 明治学院大学社会学・社会福祉学研究     6 . 最初と最後の頁 291・320       掲載論文のDOD1(デジタルオブジェクト識別子) なし     直際共著 -       オーブンアクセス     国際共著 50       1 . 著書名 杯植あづみ     4 . 整 50       2 . 論文標題 ヤングケアラーと出生前検査の調査が可視化する「閉じた家族」     5 . 幾行年 2022年       3 . 雜誌名 現代思想     6 . 最初と最後の頁 155・164       掲載論文のDOD1(デジタルオブジェクト識別子) なし     重読の有無 無       1 . 著書名 齋藤圭介     4 . 整 35       2 . 論文標題 解題「理論という実践」     5 . 幾行年 2022年       3 . 雜誌名 年報社会学論集     6 . 最初と最後の頁 1-4       掲載論名学論集     6 . 最初と最後の頁 1-4       オープンアクセス     重読の有無 無       オープンアクセス     国際共著	4. ##4	A 244
2 . 論文標題	2 . 論文標題 優生保護法から母体保護法への「改正」におけるリプロダクティブ・ヘルス/ライツをめぐる奴的 本時子元参議院議員に聴く       5 . 発行年 2023年         3 . 雑誌名 明治学院大学社会学・社会福祉学研究       6 . 最初と最後の頁 291-320         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       国際共著         1 . 著名名 柘植あづみ       4 . 巻 50         2 . 論文標題 ヤングケアラーと出生前検査の調査が可視化する「閉じた家族」       5 . 発行年 2022年         3 . 雑誌名 現代思想       6 . 最初と最後の頁 155-164         掲載論文のOOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       童読の有無 無         1 . 著名名 溶験主介       4 . 巻 35         2 . 論文標題 解題 「理論という実践」       5 . 発行年 2022年         3 . 雑誌名 年報社会学論集       6 . 最初と最後の頁 1-4         日 . 最初と最後の頁 1-4       1 . 巻 35         日 . 最初と最後の頁 1-4       1 . 巻 35         日 . 最初と最後の頁 1-4       1 . 巻 35         日 . 最初と最後の頁 1-4       1 . 是 36の有無 無         日 . 最初と最後の頁 1 . 年       1 . 是 36の有無 4 . 是 37         日 . 是初りと最後の頁 1 . 名 4 . 是 36       1 . 是 36		_
(学生保護法から母体保護法への「改正」におけるリプロダクティブ・ヘルス/ライツをめぐる攻防 堂 本明・子の参議院議員に聴く 6 . 最初と最後の頁 291-320	優生保護法から留体保護法への「改正」におけるリブロダクティブ・ヘルス/ライツをめぐる攻防 本院子元参議院議員に聴く       6.最初と最後の頁 281-320         3.雑誌名	芦野由利子、大橋由香子、柘植あづみ	161
(学生保護法から母体保護法への「改正」におけるリプロダクティブ・ヘルス/ライツをめぐる攻防 堂 本明・子の参議院議員に聴く 6 . 最初と最後の頁 291-320	優生保護法から留体保護法への「改正」におけるリブロダクティブ・ヘルス/ライツをめぐる攻防 本院子元参議院議員に聴く       6.最初と最後の頁 281-320         3.雑誌名		
(学生保護法から母体保護法への「改正」におけるリプロダクティブ・ヘルス/ライツをめぐる攻防 堂 本明・子の参議院議員に聴く 6 . 最初と最後の頁 291-320	優生保護法から留体保護法への「改正」におけるリブロダクティブ・ヘルス/ライツをめぐる攻防 本院子元参議院議員に聴く       6.最初と最後の頁 281-320         3.雑誌名	2 . 論文標題	5 . 発行年
本院子示参議院議員に聴く       6.最初と最後の頁291-320         明治学院大学社会学・社会福祉学研究       6.最初と最後の頁291-320         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし       面際共著         オープンアクセス       面際共著         1.著者名	本班子元参議院議員に聴く     6 . 最初と最後の頁       3 的姓話名     291-320       掲載論文の201 (デジタルオブジェクト識別子)なし     重読の有無無       オープンアクセス     国際共著       1 . 著者名		
3 . 雑誌名       6 . 最初と最後の頁         291-320       291-320         掲載論文のD01 (デジタルオブジェクト識別子)なし       査読の有無無無         オープンアクセス       国際共著         1 . 著書名 報信あづみ       4 . 巻 50         2 . 論文標題ヤングケアラーと出生前検査の調査が可視化する「閉じた家族」       5 . 発行年2022年         3 . 雑誌名 現代思想       6 . 最初と最後の頁155-164         掲載論文のD01 (デジタルオブジェクト識別子)なし       重読の有無無         オープンアクセス       国際共著         1 . 著書名 齋藤主介       4 . 巻 35         2 . 論文標題所理論という実践」       5 . 発行年2022年         3 . 雑誌名 年報社会学論集       6 . 最初と最後の頁1-4         掲載論文のD01 (デジタルオブジェクト識別子)ない       重読の有無無         オープンアクセス       国際共著	3 . 雑誌名       6 . 最初と最後の頁         291-320       291-320         掲載論文の001 (デジタルオブジェクト識別子)なし       直膝の有無無無         オープンアクセス       国際共著         1 . 著書名		2023 <del>*</del>
明治学院大学社会学・社会福祉学研究     291-320       掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし     査読の有無無無       オーブンアクセス     国際共著・       1. 著者名 柘植あづみ     4.巻 50       2. 論文標題ヤングケアラーと出生前検査の調査が可視化する「閉じた家族」     5.発行年2022年       3. 雑誌名現代思想     6.最初と最後の頁 155-164       掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし     査読の有無無無       1. 著者名 新題・プンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難     4.巻 35       2. 論文標題解題「理論という実践」     5.発行年2022年       3. 雑誌名年報社会学論集     6.最初と最後の頁 1-4       掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)ない     査読の有無無無の有無無無の有無無無       オープンアクセス     国際共著	明治学院大学社会学・社会福祉学研究  291-320  園際共著 オープンアクセス  1 . 著者名		c = 1 = 4 = 7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス  1 . 著書名	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし		6.最初と最後の負
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス  1 . 著書名	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	明治学院大学社会学・社会福祉学研究	291 - 320
### オープンアクセス    本ープンアクセスとしている(また、その予定である)   1. 著者名	# オープンアクセス 国際共著		
### オープンアクセス	# オープンアクセス 国際共著		
### オープンアクセス	# オープンアクセス 国際共著	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<b>杏誌の有無</b>
オープンアクセス       国際共著         1. 著者名 柘植あづみ       4. 巻 50         2. 論文標題 ヤングケアラーと出生前検査の調査が可視化する「閉じた家族」       5. 発行年 2022年         3. 雑誌名 現代思想       6. 最初と最後の頁 155-164         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オープンアクセス 落勝主介       4. 巻 35         2. 論文標題 解題「理論という実践」       5. 発行年 2022年         3. 雑誌名 年報社会学論集       6. 最初と最後の頁 1-4         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オープンアクセス       国際共著	オーブンアクセス       国際共著         1. 著者名 桁植あづみ       4. 巻 50         2. 論文標題 ヤングケアラーと出生前検査の調査が可視化する「閉じた家族」       5. 発行年 2022年         3. 雑誌名 現代思想       6. 最初と最後の頁 155-164         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし       重読の有無 無         オーブンアクセス       国際共著         1. 著者名 齋藤主介       4. 巻 35         2. 論文標題 解題「理論という実践」       5. 発行年 2022年         3. 雑誌名 年報社会学論集       6. 最初と最後の頁 1-4         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし       重読の有無 なし         オーブンアクセス       国際共著		
オープンアクセスとしている(また、その予定である)   -	オーブンアクセスとしている(また、その予定である)       -         1. 著者名 桁植あづみ       4. 巻 50         2. 論文標題 ヤングケアラーと出生前検査の調査が可視化する「閉じた家族」       5. 発行年 2022年         3. 雑誌名 現代思想       6. 最初と最後の頁 155-164         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし       重際共著 -         オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 -       4. 巻 35         2. 論文標題 解題「理論という実践」       5. 発行年 2022年         3. 雑誌名 年報社会学論集       6. 最初と最後の頁 1-4         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし       査読の有無 無         オーブンアクセス       国際共著	4 U	<del>////</del>
オープンアクセスとしている(また、その予定である)   -	オーブンアクセスとしている(また、その予定である)       -         1. 著者名 桁植あづみ       4. 巻 50         2. 論文標題 ヤングケアラーと出生前検査の調査が可視化する「閉じた家族」       5. 発行年 2022年         3. 雑誌名 現代思想       6. 最初と最後の頁 155-164         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし       重際共著 -         オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 -       4. 巻 35         2. 論文標題 解題「理論という実践」       5. 発行年 2022年         3. 雑誌名 年報社会学論集       6. 最初と最後の頁 1-4         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし       査読の有無 無         オーブンアクセス       国際共著	+ -d\7.6.4-7	
1. 著者名 柘植あづみ       4. 巻 50         2. 論文標題 ヤングケアラーと出生前検査の調査が可視化する「閉じた家族」       5. 発行年 2022年         3. 雑誌名 現代思想       6. 最初と最後の頁 155-164         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       重読の有無 無         オープンアクセス       国際共著         1. 著者名 齋藤主介       4. 巻 35         2. 論文標題 解題「理論という実践」       5. 発行年 2022年         3. 雑誌名 年報社会学論集       6. 最初と最後の頁 1-4         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オーブンアクセス       国際共著	1. 著書名       4. 巻         50       5. 発行年         2. 論文標題       2022年         3. 雑誌名       6. 最初と最後の頁         現代思想       155-164         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         なし       無         オープンアクセス       国際共著         1. 著書名	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	国除共者
柘植あづみ       50         2 .論文標題 ヤングケアラーと出生前検査の調査が可視化する「閉じた家族」       5 . 発行年 2022年         3 . 雑誌名 現代思想       6 . 最初と最後の頁 155-164         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オープンアクセス       国際共著 -         1 . 著者名 齋藤主介       4 . 巻 35         2 . 論文標題 解題「理論という実践」       5 . 発行年 2022年         3 . 雑誌名 年報社会学論集       6 . 最初と最後の頁 1-4         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし       査読の有無 無         オープンアクセス       国際共著	柘植あづみ       50         2 . 論文標題 ヤングケアラーと出生前検査の調査が可視化する「閉じた家族」       5 . 発行年 2022年         3 . 雑誌名 現代思想       6 . 最初と最後の頁 155-164         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       重読の有無 無         オープンアクセス 高藤圭介       4 . 巻 35         2 . 論文標題 解題「理論という実践」       5 . 発行年 2022年         3 . 雑誌名 年報社会学論集       6 . 最初と最後の頁 1-4         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オープンアクセス       国際共著	オーブンアクセスとしている(また、その予定である)	<u>-</u>
柘植あづみ       50         2 .論文標題 ヤングケアラーと出生前検査の調査が可視化する「閉じた家族」       5 . 発行年 2022年         3 . 雑誌名 現代思想       6 . 最初と最後の頁 155-164         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オープンアクセス 齋藤主介       4 . 巻 35         2 .論文標題 解題「理論という実践」       5 . 発行年 2022年         3 . 雑誌名 年報社会学論集       6 . 最初と最後の頁 1-4         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オープンアクセス       国際共著	柘植あづみ       50         2 . 論文標題 ヤングケアラーと出生前検査の調査が可視化する「閉じた家族」       5 . 発行年 2022年         3 . 雑誌名 現代思想       6 . 最初と最後の頁 155-164         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       重読の有無 無         オープンアクセス 高藤圭介       4 . 巻 35         2 . 論文標題 解題「理論という実践」       5 . 発行年 2022年         3 . 雑誌名 年報社会学論集       6 . 最初と最後の頁 1-4         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オープンアクセス       国際共著		
柘植あづみ       50         2 .論文標題 ヤングケアラーと出生前検査の調査が可視化する「閉じた家族」       5 . 発行年 2022年         3 . 雑誌名 現代思想       6 . 最初と最後の頁 155-164         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オープンアクセス 齋藤主介       4 . 巻 35         2 .論文標題 解題「理論という実践」       5 . 発行年 2022年         3 . 雑誌名 年報社会学論集       6 . 最初と最後の頁 1-4         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オープンアクセス       国際共著	柘植あづみ       50         2 . 論文標題 ヤングケアラーと出生前検査の調査が可視化する「閉じた家族」       5 . 発行年 2022年         3 . 雑誌名 現代思想       6 . 最初と最後の頁 155-164         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       重読の有無 無         オープンアクセス 高藤圭介       4 . 巻 35         2 . 論文標題 解題「理論という実践」       5 . 発行年 2022年         3 . 雑誌名 年報社会学論集       6 . 最初と最後の頁 1-4         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オープンアクセス       国際共著	1 . 著者名	4 . 巻
2 . 論文標題 ヤングケアラーと出生前検査の調査が可視化する「閉じた家族」       5 . 発行年 2022年         3 . 雑誌名 現代思想       6 . 最初と最後の頁 155-164         掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし       重誘の有無 無         オープンアクセス       国際共著 -         1 . 著者名 齋藤主介       4 . 巻 35         2 . 論文標題 解題「理論という実践」       5 . 発行年 2022年         3 . 雑誌名 年報社会学論集       6 . 最初と最後の頁 1-4         掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)なし       査読の有無 無         オープンアクセス       国際共著	2.論文標題 ヤングケアラーと出生前検査の調査が可視化する「閉じた家族」       5.発行年 2022年         3.雑誌名 現代思想       6.最初と最後の頁 155-164         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし       重読の有無 無         オープンアクセス 需解基介       国際共著         1.著者名 需解量・介 2.論文標題 解題「理論という実践」       4.巻 35         3.雑誌名 年報社会学論集       5.発行年 2022年         4.最初と最後の頁 1-4       1.4         掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし       重読の有無 無         オープンアクセス       国際共著		_
マングケアラーと出生前検査の調査が可視化する「閉じた家族」       2022年         3 . 雑誌名 現代思想       6 . 最初と最後の頁 155-164         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし       重読の有無 無         1 . 著者名 齋藤主介       4 . 巻 35         2 . 論文標題 解題 「理論という実践」       5 . 発行年 2022年         3 . 雑誌名 年報社会学論集       6 . 最初と最後の頁 1-4         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし       査読の有無 無         オーブンアクセス       国際共著	ヤングケアラーと出生前検査の調査が可視化する「閉じた家族」       2022年         3 . 雑誌名 現代思想       6 . 最初と最後の頁 155-164         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし       重読の有無 無         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       国際共著 -         1 . 著者名 齋藤圭介       4 . 巻 35         2 . 論文標題 解題 「理論という実践」       5 . 発行年 2022年         3 . 雑誌名 年報社会学論集       6 . 最初と最後の頁 1-4         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オープンアクセス       国際共著	1111日の 207	50
マングケアラーと出生前検査の調査が可視化する「閉じた家族」       2022年         3 . 雑誌名 現代思想       6 . 最初と最後の頁 155-164         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       重読の有無 無         1 . 著者名 齋藤主介       4 . 巻 35         2 . 論文標題 解題 「理論という実践」       5 . 発行年 2022年         3 . 雑誌名 年報社会学論集       6 . 最初と最後の頁 1-4         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オーブンアクセス       国際共著	ヤングケアラーと出生前検査の調査が可視化する「閉じた家族」       2022年         3 . 雑誌名 現代思想       6 . 最初と最後の頁 155-164         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし       重読の有無 無         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       国際共著 -         1 . 著者名 齋藤圭介       4 . 巻 35         2 . 論文標題 解題 「理論という実践」       5 . 発行年 2022年         3 . 雑誌名 年報社会学論集       6 . 最初と最後の頁 1-4         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オープンアクセス       国際共著	o *A-LEGE	5 38/= F
3 . 雑誌名       6 . 最初と最後の頁         現代思想       155-164         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし       重読の有無         オープンアクセス       国際共著         1 . 著者名	3 . 雑誌名 現代思想	·······	1 - 1,- 1
現代思想     155-164       掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし     査読の有無       オープンアクセス     国際共著       1 . 著者名 齋藤圭介     4 . 巻 35       2 . 論文標題解題「理論という実践」     5 . 発行年 2022年       3 . 雑誌名 年報社会学論集     6 . 最初と最後の頁 1-4       掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし     査読の有無 無       オープンアクセス     国際共著	現代思想 155-164  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 無  1 . 著者名 齋藤主介 2 . 論文標題	ヤングケアラーと出生前検査の調査が可視化する「閉じた家族」	2022年
現代思想     155-164       掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし     査読の有無       オープンアクセス     国際共著       1 . 著者名 齋藤圭介     4 . 巻 35       2 . 論文標題解題「理論という実践」     5 . 発行年 2022年       3 . 雑誌名 年報社会学論集     6 . 最初と最後の頁 1-4       掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし     査読の有無 無       オープンアクセス     国際共著	現代思想 155-164  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 無  1 . 著者名 齋藤主介 2 . 論文標題		
現代思想     155-164       掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし     査読の有無無       オープンアクセス     国際共著       1 . 著者名 齋藤圭介     4 . 巻 35       2 . 論文標題解題「理論という実践」     5 . 発行年 2022年       3 . 雑誌名 年報社会学論集     6 . 最初と最後の頁 1-4       掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし     査読の有無 無       オープンアクセス     国際共著	現代思想 155-164  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 無  1 . 著者名 齋藤主介 2 . 論文標題	3,雑誌名	6.最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし		
### オープンアクセス	# 日本	761 Visita	150 104
###	# 日本		
### オープンアクセス	# 日本	相乗込みの2017ででありますが、 トー 熱のマン	本芸の大畑
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       1 . 著者名	オープンアクセス     国際共著       1 . 著者名		
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       -         1 . 著者名	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       -         1 . 著者名	なし	無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       -         1 . 著者名	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       -         1 . 著者名		
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       -         1 . 著者名	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       -         1 . 著者名	オープンアクセス	国際共著
1 . 著者名 齋藤圭介       4 . 巻 35         2 . 論文標題 解題「理論という実践」       5 . 発行年 2022年         3 . 雑誌名 年報社会学論集       6 . 最初と最後の頁 1-4         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オープンアクセス       国際共著	1 . 著者名 齋藤圭介       4 . 巻 35         2 . 論文標題 解題「理論という実践」       5 . 発行年 2022年         3 . 雑誌名 年報社会学論集       6 . 最初と最後の頁 1-4         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オープンアクセス       国際共著		_
齋藤圭介352.論文標題 解題「理論という実践」5.発行年 2022年3.雑誌名 年報社会学論集6.最初と最後の頁 1-4掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著	齋藤圭介352.論文標題	つ フンノノ しろくはらい 人はり フンノノ しろり 四杯	·
齋藤圭介352.論文標題 解題「理論という実践」5.発行年 2022年3.雑誌名 年報社会学論集6.最初と最後の頁 1-4掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著	齋藤圭介352.論文標題	. ###	
2.論文標題 解題「理論という実践」5.発行年 2022年3.雑誌名 年報社会学論集6.最初と最後の頁 1-4掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著	2 . 論文標題 解題「理論という実践」       5 . 発行年 2022年         3 . 雑誌名 年報社会学論集       6 . 最初と最後の頁 1-4         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オープンアクセス       国際共著		4.巻
2.論文標題 解題「理論という実践」5.発行年 2022年3.雑誌名 年報社会学論集6.最初と最後の頁 1-4掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著	2 . 論文標題 解題「理論という実践」       5 . 発行年 2022年         3 . 雑誌名 年報社会学論集       6 . 最初と最後の頁 1-4         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オープンアクセス       国際共著	齋藤圭介	35
解題「理論という実践」2022年3.雑誌名 年報社会学論集6.最初と最後の頁 1-4掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著	解題「理論という実践」2022年3.雑誌名 年報社会学論集6.最初と最後の頁 1-4掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著		
解題「理論という実践」2022年3.雑誌名 年報社会学論集6.最初と最後の頁 1-4掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著	解題「理論という実践」2022年3.雑誌名 年報社会学論集6.最初と最後の頁 1-4掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著	2.論文標題	5 発行年
3.雑誌名       6.最初と最後の頁         年報社会学論集       1-4         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         なし       無         オープンアクセス       国際共著	3.雑誌名       6.最初と最後の頁         年報社会学論集       1-4         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         なし       無         オープンアクセス       国際共著		
年報社会学論集       1-4         掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)       査読の有無         なし       無         オープンアクセス       国際共著	年報社会学論集       1-4         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         なし       無         オープンアクセス       国際共著	F	2022 <del>+</del>
年報社会学論集       1-4         掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)       査読の有無         なし       無         オープンアクセス       国際共著	年報社会学論集       1-4         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         なし       無         オープンアクセス       国際共著	3 MAN 67	c = = = = = = = = = = = = = = = = = = =
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)		6.最初と最後の負
なし 無	なし 無 オープンアクセス 国際共著	年報社会学論集	1-4
なし 無	なし 無 オープンアクセス 国際共著		
なし 無	なし 無 オープンアクセス 国際共著		
なし 無	なし 無 オープンアクセス 国際共著	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
オープンアクセス 国際共著	オープンアクセス 国際共著	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
		4.U	***
		+ + +	□ 1989 ±± →→
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 -		国際共著
	1	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

1 - 著名名 音野科子 2 - 論文機類 リプログラティブ・ヘルス&ライツと国内外の中絶対応 3 - 競技権 リプログラティブ・ヘルス&ライツと国内外の中絶対応 3 - 競技権 女性白舞		
世界	. 1.著者名	4 . 巻
2. 論文標題 リプログクティブ・ヘルス&ライツと国内外の中絶対応 3. 雑誌名 女性日童 3. 雑誌名 不		
リプログラティブ・ヘルス&ライツと国内外の中絶対応     2022年       3 . 袖話名 女性日寿     6 . 最初と最後の頁 38-40       東京語文のDOI (デジタルオプジェクト選別子)     国際共著 .       オープンアクセス     国際共著 .       1 . 著名名 [Tsuge, Azumi ]     4 . 色 28(2)       2 . 論文理題 [Women's decision-making and their experiences in the changing socio-technical system of prenatal testing in Japan, 1980s to 2010s     5 . 発行年 2021年 [2021年 ]       3 . 微話名 [COX: The Journal of the Internatinal Conittee for the History of Technology     6 . 最初と最後の頁 62-80       財政論文のEOI (デジタルオプジェクト選別子) なし	自到探丁	2022
リプログラティブ・ヘルス&ライツと国内外の中絶対応     2022年       3 . 袖話名 女性日寿     6 . 最初と最後の頁 38-40       東京語文のDOI (デジタルオプジェクト選別子)     国際共著 .       オープンアクセス     国際共著 .       1 . 著名名 [Tsuge, Azumi ]     4 . 色 28(2)       2 . 論文理題 [Women's decision-making and their experiences in the changing socio-technical system of prenatal testing in Japan, 1980s to 2010s     5 . 発行年 2021年 [2021年 ]       3 . 微話名 [COX: The Journal of the Internatinal Conittee for the History of Technology     6 . 最初と最後の頁 62-80       財政論文のEOI (デジタルオプジェクト選別子) なし		
リプログラティブ・ヘルス&ライツと国内外の中絶対応     2022年       3 . 袖話名 女性日寿     6 . 最初と最後の頁 38-40       東京語文のDOI (デジタルオプジェクト選別子)     国際共著 .       オープンアクセス     国際共著 .       1 . 著名名 [Tsuge, Azumi ]     4 . 色 28(2)       2 . 論文理題 [Women's decision-making and their experiences in the changing socio-technical system of prenatal testing in Japan, 1980s to 2010s     5 . 発行年 2021年 [2021年 ]       3 . 微話名 [COX: The Journal of the Internatinal Conittee for the History of Technology     6 . 最初と最後の頁 62-80       財政論文のEOI (デジタルオプジェクト選別子) なし	2 論文標題	5 発行年
3 - 納証名 女性白書	····	
数性自動	リノロダクティノ・ヘルス&フィツと国内外の中紀対心	2022年
数性自動		
数性自動	3 始註夕	6 是初と是後の百
機能なの001(デジタルオブジェクト機別子) なし オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著名名 Tauge, Azumi 2. 論文標題 Nomer's decision-making and their experiences in the changing socio-technical system of promatal testing in Japan, 1980s to 2010s 3. 操搖名 (CON: The Journal of the Internatinal Comittee for the History of Technology  超数論文の001(デジタルオプジェクト機別子) なし  1. 著名名 柘植あプか 2. 論文標題 NIPT等の出生前検査に関する倫理的課題と社会的課題について 3. 雑誌名 母子保健情報誌15  第一プンアクセス  3. 雑誌名 日本プンアクセス  3. 雑誌名 日本プンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著名名 日本プンアクセス  3. 雑誌名 日本プンアクセス  3. 雑誌名 日本プンアクセス  4. 巻 7  2. 論文標題 (IOTA) Type A オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著名名 佐野 教子、サノ アツコ 2. 論文機器 (IOTA) プロタクティブ・ヘルス/ライツに与える影響: ドイツにおける妊娠中絶をめぐる法改正と女性 運動の事務から 3. 雑誌名 2. 指文程器 (IOTA) プロタクティブ・ヘルス/ライツに与える影響: ドイツにおける妊娠中絶をめぐる法改正と女性 運動の事務から 3. 雑誌名 2. 世紀会デザイン研究: Rikkyo journal of social design studies  4. 巻 2021年		
機能なの001(デジタルオブジェクト機別子) なし オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著名名 Tauge, Azumi 2. 論文標題 Nomer's decision-making and their experiences in the changing socio-technical system of promatal testing in Japan, 1980s to 2010s 3. 操搖名 (CON: The Journal of the Internatinal Comittee for the History of Technology  超数論文の001(デジタルオプジェクト機別子) なし  1. 著名名 柘植あプか 2. 論文標題 NIPT等の出生前検査に関する倫理的課題と社会的課題について 3. 雑誌名 母子保健情報誌15  第一プンアクセス  3. 雑誌名 日本プンアクセス  3. 雑誌名 日本プンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著名名 日本プンアクセス  3. 雑誌名 日本プンアクセス  3. 雑誌名 日本プンアクセス  4. 巻 7  2. 論文標題 (IOTA) Type A オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著名名 佐野 教子、サノ アツコ 2. 論文機器 (IOTA) プロタクティブ・ヘルス/ライツに与える影響: ドイツにおける妊娠中絶をめぐる法改正と女性 運動の事務から 3. 雑誌名 2. 指文程器 (IOTA) プロタクティブ・ヘルス/ライツに与える影響: ドイツにおける妊娠中絶をめぐる法改正と女性 運動の事務から 3. 雑誌名 2. 世紀会デザイン研究: Rikkyo journal of social design studies  4. 巻 2021年	女性白書	36-40
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##		
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##		
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##		
1 著名名 TSuge, Azumi 1 著名名 TSuge, Azumi 2 . 論文標題 Nomen's decision-making and their experiences in the changing socio-technical system of prenatal testing in Japan, 1890s to 2010s 3 . 稀誠名 ICON: The Journal of the Internatinal Conittee for the History of Technology  指数論文の001(デジタルオプジェクト識別子) なし カープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著名名 柘塩あづみ 2 . 論文標題 NIPT等の出生的検査に関する倫理的課題と社会的課題について 3 . 雑誌名 日子保健情報誌15 「	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
1 著名名 TSuge, Azumi 1 著名名 TSuge, Azumi 2 . 論文標題 Nomen's decision-making and their experiences in the changing socio-technical system of prenatal testing in Japan, 1890s to 2010s 3 . 稀誠名 ICON: The Journal of the Internatinal Conittee for the History of Technology  指数論文の001(デジタルオプジェクト識別子) なし カープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著名名 柘塩あづみ 2 . 論文標題 NIPT等の出生的検査に関する倫理的課題と社会的課題について 3 . 雑誌名 日子保健情報誌15 「	til.	<del>1111</del>
著名名   Tsuge, Azumi	74 U	<del>////</del>
著名名   Tsuge, Azumi		
1 著名名   Tsuge, Azumi	オープンアクセス	国際共著
1 . 著者名 T Suge, Azumi	オープンマクセスではない。又はオープンマクセスが困難	
Tsuge, Azumi   26(2)   2. 論文標題   5. 飛行年   2021年   2022年   2021年   2021年   2022年   2021年	オーノファクセスとはない、又はオーノファクセスが困難	-
Tsuge, Azumi   26(2)   2. 論文標題   5. 飛行年   2021年   2022年   2021年   2021年   2022年   2021年		
Tsuge, Azumi   26(2)   2. 論文標題   5. 飛行年   2021年   2022年   2021年   2021年   2022年   2021年	1 菜老名	1
2. 論文標題   Nomen's decision-making and their experiences in the changing socio-technical system of prenatal testing in Japan, 1980s to 2010s   Name		
Women's decision-making and their experiences in the changing socio-technical system of prenatal testing in Japan, 1980s to 2010s   2021年	Tsuge, Azumi	26(2)
Women's decision-making and their experiences in the changing socio-technical system of prenatal testing in Japan, 1980s to 2010s   2021年	• •	
Women's decision-making and their experiences in the changing socio-technical system of prenatal testing in Japan, 1980s to 2010s   2021年	2 - 本本中田田	F 76/-/-
prenatal testing in Japan, 1980s to 2010s 3.雑誌名	2.	5 . 発行中
prenatal testing in Japan, 1980s to 2010s 3.雑誌名	Women's decision-making and their experiences in the changing socio-technical system of	2021年
3. 雑誌名   ION: The Journal of the Internatinal Comittee for the History of Technology		
ICON: The Journal of the Internatinal Comittee for the History of Technology   62-80   信託の有無 をし		
ICON: The Journal of the Internatinal Comittee for the History of Technology   62-80   信託の有無 をし	3.雑誌名	6.最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)		
### おープンアクセス   国際共著	Took. The Journal of the Internatinal complete for the History of Technology	62-80
### おープンアクセス   国際共著		
### おープンアクセス   国際共著		
### おープンアクセス   国際共著		*+**
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名	掲載舗乂のDOI(ナンタルオノシェクト識別子)	(
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名	なし	有
オーブンアクセスとしている(また、その予定である)       -         1. 著者名 柘植あづみ       4. 巻 7         2. 論文標題 NIPT等の出生前検査に関する倫理的課題と社会的課題について       5. 発行年 2022年         3. 雑誌名 母子保健情報誌15       6. 最初と最後の頁 15-19         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし       重読の有無 無         1. 著者名 佐野 敦子、サノ アツコ       4. 巻 20         2. 論文標題 ICTがリプロダクティブ・ヘルス / ライツに与える影響: ドイツにおける妊娠中絶をめぐる法改正と女性 運動の考察から       5. 発行年 2021年         3. 雑誌名 21世紀社会デザイン研究: Rikkyo journal of social design studies       6. 最初と最後の頁 57~71         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.14992/00021446       査読の有無 無         オープンアクセス       国際共著	.40	F
オーブンアクセスとしている(また、その予定である)       -         1. 著者名 柘植あづみ       4. 巻 7         2. 論文標題 NIPT等の出生前検査に関する倫理的課題と社会的課題について       5. 発行年 2022年         3. 雑誌名 母子保健情報誌15       6. 最初と最後の頁 15-19         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし       重読の有無 無         1. 著者名 佐野 敦子、サノ アツコ       4. 巻 20         2. 論文標題 ICTがリプロダクティブ・ヘルス / ライツに与える影響: ドイツにおける妊娠中絶をめぐる法改正と女性 運動の考察から       5. 発行年 2021年         3. 雑誌名 21世紀社会デザイン研究: Rikkyo journal of social design studies       6. 最初と最後の頁 57~71         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.14992/00021446       査読の有無 無         オープンアクセス       国際共著		
1. 著者名 木植あづみ       4. 巻 7         2. 論文標題 NPT等の出生前検査に関する倫理的課題と社会的課題について       5. 発行年 2022年         3. 雑誌名 母子保健情報誌15       6. 最初と最後の頁 15-19         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       直読の有無 無         オーブンアクセス 本ーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難       1. 養者名 佐野 敦子、サノ アツコ         2. 論文標題 ICTがリプロダクティブ・ヘルス / ライツに与える影響: ドイツにおける妊娠中絶をめぐる法改正と女性 運動の考察から       5. 発行年 2021年         3. 雑誌名 21世紀社会デザイン研究: Rikkyo journal of social design studies       6. 最初と最後の頁 57~71         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14992/00021446       査読の有無 無         オープンアクセス       国際共著	オーブンアクセス	国際共著
1. 著者名 木植あづみ       4. 巻 7         2. 論文標題 NPT等の出生前検査に関する倫理的課題と社会的課題について       5. 発行年 2022年         3. 雑誌名 母子保健情報誌15       6. 最初と最後の頁 15-19         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       直読の有無 無         オーブンアクセス 本ーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難       1. 養者名 佐野 敦子、サノ アツコ         2. 論文標題 ICTがリプロダクティブ・ヘルス / ライツに与える影響: ドイツにおける妊娠中絶をめぐる法改正と女性 運動の考察から       5. 発行年 2021年         3. 雑誌名 21世紀社会デザイン研究: Rikkyo journal of social design studies       6. 最初と最後の頁 57~71         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14992/00021446       査読の有無 無         オープンアクセス       国際共著	オープンアクセフトしている(また、その名字である)	
柘植あづみ       7         2 . 論文標題 NIPT等の出生前検査に関する倫理的課題と社会的課題について       5 . 発行年 2022年         3 . 雑誌名 母子保健情報誌15       6 . 最初と最後の頁 15-19         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       直読の有無 無         オープンアクセス       国際共著 -         1 . 著者名 佐野 敦子、サノ アツコ       4 . 巻 20         2 . 論文標題 ICTがリプロダクティブ・ヘルス / ライツに与える影響: ドイツにおける妊娠中絶をめぐる法改正と女性 運動の考察から 3 . 雑誌名 21世紀社会デザイン研究: Rikkyo journal of social design studies       5 . 発行年 2021年         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14992/00021446       重読の有無 無         オープンアクセス       国際共著	オープンデクセスとしている(また、その)をものる)	-
柘植あづみ       7         2 . 論文標題 NIPT等の出生前検査に関する倫理的課題と社会的課題について       5 . 発行年 2022年         3 . 雑誌名 母子保健情報誌15       6 . 最初と最後の頁 15-19         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       直読の有無 無         オープンアクセス       国際共著 -         1 . 著者名 佐野 敦子、サノ アツコ       4 . 巻 20         2 . 論文標題 ICTがリプロダクティブ・ヘルス / ライツに与える影響: ドイツにおける妊娠中絶をめぐる法改正と女性 運動の考察から 3 . 雑誌名 21世紀社会デザイン研究: Rikkyo journal of social design studies       5 . 発行年 2021年         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14992/00021446       重読の有無 無         オープンアクセス       国際共著		
柘植あづみ       7         2 . 論文標題 NIPT等の出生前検査に関する倫理的課題と社会的課題について       5 . 発行年 2022年         3 . 雑誌名 母子保健情報誌15       6 . 最初と最後の頁 15-19         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       直読の有無 無         オープンアクセス       国際共著 -         1 . 著者名 佐野 敦子、サノ アツコ       4 . 巻 20         2 . 論文標題 ICTがリプロダクティブ・ヘルス / ライツに与える影響: ドイツにおける妊娠中絶をめぐる法改正と女性 運動の考察から 3 . 雑誌名 21世紀社会デザイン研究: Rikkyo journal of social design studies       5 . 発行年 2021年         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14992/00021446       重読の有無 無         オープンアクセス       国際共著	1 菜老名	/
2. 論文標題 NIPT等の出生前検査に関する倫理的課題と社会的課題について       5. 発行年 2022年         3. 雑誌名 母子保健情報誌15       6. 最初と最後の頁 15-19         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし       査読の有無 無         オープンアクセス 佐野 教子、サノ アツコ       国際共著 20         1. 著者名 佐野 教子、サノ アツコ       4. 巻 20         2. 論文標題 ICTがリプロダクティブ・ヘルス/ライツに与える影響: ドイツにおける妊娠中絶をめぐる法改正と女性 運動の考察から       5. 発行年 2021年         3. 雑誌名 21世紀社会デザイン研究: Rikkyo journal of social design studies       6. 最初と最後の頁 57-71         掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.14992/00021446       査読の有無 無         オープンアクセス       国際共著		
NIPT等の出生前検査に関する倫理的課題と社会的課題について       2022年         3 . 雑誌名 母子保健情報誌15       6 . 最初と最後の頁 15-19         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オーブンアクセス を野 敦子、サノ アツコ       国際共著 -         1 . 著者名 佐野 敦子、サノ アツコ       4 . 巻 20         2 . 論文標題 ICTがリプロダクティブ・ヘルス/ライツに与える影響: ドイツにおける妊娠中絶をめぐる法改正と女性 運動の考察から       5 . 発行年 2021年         3 . 雑誌名 21世紀社会デザイン研究: Rikkyo journal of social design studies       6 . 最初と最後の頁 57~71         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10 . 14992/00021446       査読の有無 無         オーブンアクセス       国際共著	柘植あつみ	7
NIPT等の出生前検査に関する倫理的課題と社会的課題について       2022年         3 . 雑誌名 母子保健情報誌15       6 . 最初と最後の頁 15-19         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オーブンアクセス を野 敦子、サノ アツコ       国際共著 -         1 . 著者名 佐野 敦子、サノ アツコ       4 . 巻 20         2 . 論文標題 ICTがリプロダクティブ・ヘルス/ライツに与える影響: ドイツにおける妊娠中絶をめぐる法改正と女性 運動の考察から       5 . 発行年 2021年         3 . 雑誌名 21世紀社会デザイン研究: Rikkyo journal of social design studies       6 . 最初と最後の頁 57~71         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10 . 14992/00021446       査読の有無 無         オーブンアクセス       国際共著		
NIPT等の出生前検査に関する倫理的課題と社会的課題について       2022年         3 . 雑誌名 母子保健情報誌15       6 . 最初と最後の頁 15-19         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オーブンアクセス を野 敦子、サノ アツコ       国際共著 -         1 . 著者名 佐野 敦子、サノ アツコ       4 . 巻 20         2 . 論文標題 ICTがリプロダクティブ・ヘルス/ライツに与える影響: ドイツにおける妊娠中絶をめぐる法改正と女性 運動の考察から       5 . 発行年 2021年         3 . 雑誌名 21世紀社会デザイン研究: Rikkyo journal of social design studies       6 . 最初と最後の頁 57~71         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10 . 14992/00021446       査読の有無 無         オーブンアクセス       国際共著		F 38/-/-
3 . 雑誌名 母子保健情報誌15	2.論又標題	5.発行年
3 . 雑誌名 母子保健情報誌15	NIPT等の出生前検査に関する倫理的課題と社会的課題について	2022年
日報論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	GO EL EN NEION O INVESTIGAÇÃO EL SES INVESTIGAÇÃO	
日報論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)		
日報論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)		6.最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 佐野 敦子、サノ アツコ  2 . 論文標題 ICTがリプロダクティブ・ヘルス / ライツに与える影響: ドイツにおける妊娠中絶をめぐる法改正と女性 運動の考察から 3 . 雑誌名 21世紀社会デザイン研究: Rikkyo journal of social design studies  5 . 最初と最後の頁 57~71  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10 .14992/00021446  加 .	3.雑誌名	
# 日際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 日際共著 - 1 . 著者名 佐野 敦子、サノ アツコ	** *** * *	15 10
# 日際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 日際共著 - 1 . 著者名 佐野 敦子、サノ アツコ	** *** * *	15-19
# 日際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 日際共著 - 1 . 著者名 佐野 敦子、サノ アツコ	** *** * *	15-19
# 日際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 日際共著 - 1 . 著者名 佐野 敦子、サノ アツコ	** *** * *	15-19
オープンアクセス 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 佐野 敦子、サノ アツコ 4 . 巻 20 2 . 論文標題 ICTがリプロダクティブ・ヘルス / ライツに与える影響 : ドイツにおける妊娠中絶をめぐる法改正と女性 運動の考察から 5 . 発行年 2021年 2021年 2021年 201世紀社会デザイン研究 : Rikkyo journal of social design studies 5 . そ 71 表彰 2 5 . 表 7 7 1 5 5 5 . 表 7 7 1 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	母子保健情報誌15	
オープンアクセス 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 佐野 敦子、サノ アツコ 4 . 巻 20 2 . 論文標題 ICTがリプロダクティブ・ヘルス / ライツに与える影響 : ドイツにおける妊娠中絶をめぐる法改正と女性 運動の考察から 5 . 発行年 2021年 2021年 2021年 201世紀社会デザイン研究 : Rikkyo journal of social design studies 5 . そ 71 表彰 2 5 . 表 7 7 1 5 5 5 . 表 7 7 1 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	母子保健情報誌15	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難-1 . 著者名 佐野 敦子、サノ アツコ4 . 巻 202 . 論文標題 ICTがリプロダクティブ・ヘルス / ライツに与える影響: ドイツにおける妊娠中絶をめぐる法改正と女性 運動の考察から5 . 発行年 2021年3 . 雑誌名 21世紀社会デザイン研究: Rikkyo journal of social design studies6 . 最初と最後の頁 57~71掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10 . 14992/00021446査読の有無 無オープンアクセス国際共著	母子保健情報誌15 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難-1 . 著者名 佐野 敦子、サノ アツコ4 . 巻 202 . 論文標題 ICTがリプロダクティブ・ヘルス / ライツに与える影響: ドイツにおける妊娠中絶をめぐる法改正と女性 運動の考察から5 . 発行年 2021年3 . 雑誌名 21世紀社会デザイン研究: Rikkyo journal of social design studies6 . 最初と最後の頁 57~71掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10 . 14992/00021446査読の有無 無オープンアクセス国際共著	母子保健情報誌15 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
1 . 著者名 佐野 敦子、サノ アツコ       4 . 巻 20         2 . 論文標題 ICTがリプロダクティブ・ヘルス / ライツに与える影響: ドイツにおける妊娠中絶をめぐる法改正と女性 運動の考察から       5 . 発行年 2021年         3 . 雑誌名 21世紀社会デザイン研究: Rikkyo journal of social design studies       6 . 最初と最後の頁 57~71         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14992/00021446       査読の有無 無         オープンアクセス       国際共著	母子保健情報誌15 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無無
1 . 著者名 佐野 敦子、サノ アツコ       4 . 巻 20         2 . 論文標題 ICTがリプロダクティブ・ヘルス / ライツに与える影響: ドイツにおける妊娠中絶をめぐる法改正と女性 運動の考察から       5 . 発行年 2021年         3 . 雑誌名 21世紀社会デザイン研究: Rikkyo journal of social design studies       6 . 最初と最後の頁 57~71         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14992/00021446       査読の有無 無         オープンアクセス       国際共著	母子保健情報誌15 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無無
佐野 敦子、サノ アツコ202.論文標題 ICTがリプロダクティブ・ヘルス / ライツに与える影響: ドイツにおける妊娠中絶をめぐる法改正と女性 運動の考察から5.発行年 2021年3.雑誌名 21世紀社会デザイン研究: Rikkyo journal of social design studies6.最初と最後の頁 57~71掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14992/00021446査読の有無 無オープンアクセス国際共著	母子保健情報誌15 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	査読の有無無
佐野 敦子、サノ アツコ202.論文標題 ICTがリプロダクティブ・ヘルス / ライツに与える影響: ドイツにおける妊娠中絶をめぐる法改正と女性 運動の考察から5.発行年 2021年3.雑誌名 21世紀社会デザイン研究: Rikkyo journal of social design studies6.最初と最後の頁 57~71掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14992/00021446査読の有無 無オープンアクセス国際共著	母子保健情報誌15 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	査読の有無無
佐野 敦子、サノ アツコ202.論文標題 ICTがリプロダクティブ・ヘルス / ライツに与える影響: ドイツにおける妊娠中絶をめぐる法改正と女性 運動の考察から5.発行年 2021年3.雑誌名 21世紀社会デザイン研究: Rikkyo journal of social design studies6.最初と最後の頁 57~71掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14992/00021446査読の有無 無オープンアクセス国際共著	母子保健情報誌15 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	査読の有無 無 国際共著
2.論文標題 ICTがリプロダクティブ・ヘルス / ライツに与える影響: ドイツにおける妊娠中絶をめぐる法改正と女性 運動の考察から5.発行年 2021年3.雑誌名 21世紀社会デザイン研究: Rikkyo journal of social design studies6.最初と最後の頁 57~71掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14992/00021446査読の有無 無オープンアクセス国際共著	母子保健情報誌15 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	査読の有無 無 国際共著
ICTがリプロダクティブ・ヘルス / ライツに与える影響: ドイツにおける妊娠中絶をめぐる法改正と女性 運動の考察から2021年3.雑誌名 21世紀社会デザイン研究: Rikkyo journal of social design studies6.最初と最後の頁 57~71掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14992/00021446査読の有無 無オープンアクセス国際共著	母子保健情報誌15 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名	査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻
ICTがリプロダクティブ・ヘルス / ライツに与える影響: ドイツにおける妊娠中絶をめぐる法改正と女性 運動の考察から2021年3.雑誌名 21世紀社会デザイン研究: Rikkyo journal of social design studies6.最初と最後の頁 57~71掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14992/00021446査読の有無 無オープンアクセス国際共著	母子保健情報誌15 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名	査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻
ICTがリプロダクティブ・ヘルス / ライツに与える影響: ドイツにおける妊娠中絶をめぐる法改正と女性 運動の考察から2021年3.雑誌名 21世紀社会デザイン研究: Rikkyo journal of social design studies6.最初と最後の頁 57~71掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14992/00021446査読の有無 無オープンアクセス国際共著	母子保健情報誌15 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名	査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻
運動の考察から6.最初と最後の頁3.雑誌名 21世紀社会デザイン研究: Rikkyo journal of social design studies6.最初と最後の頁 57~71掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14992/00021446査読の有無 無オープンアクセス国際共著	母子保健情報誌15  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 佐野 敦子、サノ アツコ	査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 20
運動の考察から6.最初と最後の頁3.雑誌名 21世紀社会デザイン研究: Rikkyo journal of social design studies6.最初と最後の頁 57~71掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14992/00021446査読の有無 無オープンアクセス国際共著	母子保健情報誌15 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 佐野 敦子、サノ アツコ 2 . 論文標題	査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 20 5.発行年
3.雑誌名       6.最初と最後の頁         21世紀社会デザイン研究: Rikkyo journal of social design studies       57~71         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         10.14992/00021446       無         オープンアクセス       国際共著	母子保健情報誌15 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 佐野 敦子、サノ アツコ 2 . 論文標題	査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 20 5.発行年
21世紀社会デザイン研究: Rikkyo journal of social design studies       57~71         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         10.14992/00021446       無         オープンアクセス       国際共著	母子保健情報誌15  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 佐野 敦子、サノ アツコ  2 . 論文標題 ICTがリプロダクティブ・ヘルス / ライツに与える影響 : ドイツにおける妊娠中絶をめぐる法改正と女性	査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 20 5.発行年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.14992/00021446	母子保健情報誌15  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス	査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 20 5 . 発行年 2021年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.14992/00021446	母子保健情報誌15  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 佐野 敦子、サノ アツコ  2 . 論文標題 ICTがリプロダクティブ・ヘルス / ライツに与える影響 : ドイツにおける妊娠中絶をめぐる法改正と女性 運動の考察から 3 . 雑誌名	査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 20 5 . 発行年 2021年
10.14992/00021446       無         オープンアクセス       国際共著	母子保健情報誌15  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 佐野 敦子、サノ アツコ  2 . 論文標題 ICTがリプロダクティブ・ヘルス / ライツに与える影響 : ドイツにおける妊娠中絶をめぐる法改正と女性 運動の考察から 3 . 雑誌名	直読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 20 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
10.14992/00021446       無         オープンアクセス       国際共著	母子保健情報誌15  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 佐野 敦子、サノ アツコ  2 . 論文標題 ICTがリプロダクティブ・ヘルス / ライツに与える影響 : ドイツにおける妊娠中絶をめぐる法改正と女性 運動の考察から 3 . 雑誌名	直読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 20 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
10.14992/00021446       無         オープンアクセス       国際共著	母子保健情報誌15 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 佐野 敦子、サノ アツコ  2 . 論文標題 ICTがリプロダクティブ・ヘルス / ライツに与える影響: ドイツにおける妊娠中絶をめぐる法改正と女性 運動の考察から 3 . 雑誌名	直読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 20 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
10.14992/00021446       無         オープンアクセス       国際共著	母子保健情報誌15 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 佐野 敦子、サノ アツコ  2 . 論文標題 ICTがリプロダクティブ・ヘルス / ライツに与える影響 : ドイツにおける妊娠中絶をめぐる法改正と女性 運動の考察から 3 . 雑誌名	直読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 20 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス 国際共著	母子保健情報誌15 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 佐野 敦子、サノ アツコ  2 . 論文標題 ICTがリプロダクティブ・ヘルス/ライツに与える影響: ドイツにおける妊娠中絶をめぐる法改正と女性 運動の考察から 3 . 雑誌名 21世紀社会デザイン研究: Rikkyo journal of social design studies	重読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 20 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 57~71
	母子保健情報誌15 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 佐野 敦子、サノ アツコ  2 . 論文標題 ICTがリプロダクティブ・ヘルス / ライツに与える影響 : ドイツにおける妊娠中絶をめぐる法改正と女性 運動の考察から 3 . 雑誌名 21世紀社会デザイン研究 : Rikkyo journal of social design studies	査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 20 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 57~71
	母子保健情報誌15 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 佐野 敦子、サノ アツコ  2 . 論文標題 ICTがリプロダクティブ・ヘルス / ライツに与える影響 : ドイツにおける妊娠中絶をめぐる法改正と女性 運動の考察から 3 . 雑誌名 21世紀社会デザイン研究 : Rikkyo journal of social design studies	査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 20 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 57~71
	日報論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 20 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 57~71
	母子保健情報誌15 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 佐野 敦子、サノ アツコ  2 . 論文標題 ICTがリプロダクティブ・ヘルス / ライツに与える影響: ドイツにおける妊娠中絶をめぐる法改正と女性 運動の考察から 3 . 雑誌名 21世紀社会デザイン研究: Rikkyo journal of social design studies  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14992/00021446	重読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 20 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 57~71 査読の有無 無
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	母子保健情報誌15   掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	重読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 20 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 57~71 査読の有無 無

. ***	A 314
1 . 著者名	4 . 巻
佐野 敦子	24
2.論文標題	5 . 発行年
COVID-19がジェンダー施策に与える影響 ドイツの男女平等戦略を巡る現状報告	2021年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
ジェンダー研究 : お茶の水女子大学ジェンダー研究所年報	57 ~ 65
シェンター 妍九 . の家の小女子人子シェンター 妍九州 牛報	57 ~ 65
48 ± 44 ± 0 0 0 1 / 2 0 0 0 1 ± 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	****
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.24567/0002000110	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
3 7777 EXCOUNT (\$7.5. 00)	
4 55 747	4 <del>44</del>
1 . 著者名	4 . 巻
齋藤圭介	63
2.論文標題	5 . 発行年
第12回/最終回 社会調査で得られる社会像 と リアルな社会 のあいだに生じる不可避のズレ	2021年
おには、東京は 社会的自てはられる社会家 こ ソナルな社会 ののいにによしるから歴の人と	2021-
그 141학 선	6 見知と見後の五
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of the Atomic Energy Society of Japan	496 ~ 496
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3327/jaesjb.63.6_496	無
10.30277 [403] 0.00.0_400	<del>////</del>
オープンアクセス	国際共著
· · · · · · = · ·	国际共有
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4.巻
SAITO Keisuke	72(4)
	` '
2.論文標題	5.発行年
·····	
生殖における男性の当事者性・再考	2022年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Japanese Sociological Review	467 ~ 486
•	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	   査読の有無
10.4057/jsr.72.467	有
1 -2	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	4 . 巻
ETIX 1	32(1)
0 AA-140F	- 7V./= hr
2.論文標題	5 . 発行年
スクリーニング検査と受検者の視覚 二つのスクリーニング検査をめぐる当事者の語りから	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
保健医療社会学論集	45-54
<b>ル、ヒピンル、壮</b> 五ナ間未	40-04
相乗込みの2017でかりますが、 5.1 幼のリフン	<u> </u>
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
<b>カーノファフ ヒヘ しはない、 スはカーフファフ ヒヘル 四乗</b>	-

. # # # #	. 24
1 . 著者名	4 . 巻
管野摂子・田中慶子	51(5)
2 . 論文標題	5 . 発行年
出生前検査に対する一般社会の認識	2021年
	6.最初と最後の頁
周産期医学 特集「これからの出生前遺伝学的検査を考える」	701-704
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
カープンデクセスとはない、大はカープンデクセスが四無	-
1.著者名	4 . 巻
菅野摂子	18
2.論文標題	5 . 発行年
~・	2020年
17末・ノノノル10はノエノノ「十寸に可づするか、 付未にのにノし」(営政百丿	2020-
2 1944 (7	c ====================================
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
国際ジェンダー学会	5-7
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
40	***
オープンアクセス	
=	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
Chia-Ling, Wu, and Jung-Ok, Ha, Azumi Tsuge	14.1.
onta Enig, wa, and oding ok, ha, ream roage	1
3	1 C 彩行在
2.論文標題	5.発行年
Data Reporting as Care Infrastructure: Assembling ART Registries in Japan, Taiwan, and South	5 . 発行年 2020年
Data Reporting as Care Infrastructure: Assembling ART Registries in Japan, Taiwan, and South Korea, East Asian Science, Technology and Society	2020年
Data Reporting as Care Infrastructure: Assembling ART Registries in Japan, Taiwan, and South	
Data Reporting as Care Infrastructure: Assembling ART Registries in Japan, Taiwan, and South Korea, East Asian Science, Technology and Society 3.雑誌名	2020年 6 . 最初と最後の頁
Data Reporting as Care Infrastructure: Assembling ART Registries in Japan, Taiwan, and South Korea, East Asian Science, Technology and Society	2020年
Data Reporting as Care Infrastructure: Assembling ART Registries in Japan, Taiwan, and South Korea, East Asian Science, Technology and Society 3.雑誌名	2020年 6 . 最初と最後の頁
Data Reporting as Care Infrastructure: Assembling ART Registries in Japan, Taiwan, and South Korea, East Asian Science, Technology and Society  3 . 雑誌名 An International Journal, Duke University Press,	2020年 6 . 最初と最後の頁 35-59
Data Reporting as Care Infrastructure: Assembling ART Registries in Japan, Taiwan, and South Korea, East Asian Science, Technology and Society  3.雑誌名 An International Journal, Duke University Press, 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	2020年 6.最初と最後の頁 35-59 査読の有無
Data Reporting as Care Infrastructure: Assembling ART Registries in Japan, Taiwan, and South Korea, East Asian Science, Technology and Society 3.雑誌名 An International Journal, Duke University Press,	2020年 6 . 最初と最後の頁 35-59
Data Reporting as Care Infrastructure: Assembling ART Registries in Japan, Taiwan, and South Korea, East Asian Science, Technology and Society  3.雑誌名 An International Journal, Duke University Press,  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1215/18752160-8233676	2020年 6.最初と最後の頁 35-59 査読の有無 有
Data Reporting as Care Infrastructure: Assembling ART Registries in Japan, Taiwan, and South Korea, East Asian Science, Technology and Society  3.雑誌名 An International Journal, Duke University Press,  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1215/18752160-8233676	2020年 6.最初と最後の頁 35-59 査読の有無 有 国際共著
Data Reporting as Care Infrastructure: Assembling ART Registries in Japan, Taiwan, and South Korea, East Asian Science, Technology and Society  3 . 雑誌名 An International Journal, Duke University Press,  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1215/18752160-8233676	2020年 6.最初と最後の頁 35-59 査読の有無 有
Data Reporting as Care Infrastructure: Assembling ART Registries in Japan, Taiwan, and South Korea, East Asian Science, Technology and Society  3.雑誌名 An International Journal, Duke University Press,  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1215/18752160-8233676	2020年 6.最初と最後の頁 35-59 査読の有無 有 国際共著
Data Reporting as Care Infrastructure: Assembling ART Registries in Japan, Taiwan, and South Korea, East Asian Science, Technology and Society  3.雑誌名 An International Journal, Duke University Press,  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1215/18752160-8233676  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2020年 6.最初と最後の頁 35-59  査読の有無 有  国際共著 該当する
Data Reporting as Care Infrastructure: Assembling ART Registries in Japan, Taiwan, and South Korea, East Asian Science, Technology and Society  3.雑誌名 An International Journal, Duke University Press,  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1215/18752160-8233676  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2020年 6.最初と最後の頁 35-59  査読の有無 有  国際共著  該当する
Data Reporting as Care Infrastructure: Assembling ART Registries in Japan, Taiwan, and South Korea, East Asian Science, Technology and Society  3.雑誌名 An International Journal, Duke University Press,  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1215/18752160-8233676  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2020年 6.最初と最後の頁 35-59  査読の有無 有  国際共著 該当する
Data Reporting as Care Infrastructure: Assembling ART Registries in Japan, Taiwan, and South Korea, East Asian Science, Technology and Society  3 . 雑誌名 An International Journal, Duke University Press,  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1215/18752160-8233676  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 山中 美智子、吉橋 博史、本田 まり、水野 誠司、柘植 あづみ	2020年 6.最初と最後の頁 35-59  査読の有無 有  国際共著 該当する  4.巻 7
Data Reporting as Care Infrastructure: Assembling ART Registries in Japan, Taiwan, and South Korea, East Asian Science, Technology and Society  3.雑誌名 An International Journal, Duke University Press,  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1215/18752160-8233676  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2020年 6.最初と最後の頁 35-59  査読の有無 有  国際共著  該当する
Data Reporting as Care Infrastructure: Assembling ART Registries in Japan, Taiwan, and South Korea, East Asian Science, Technology and Society  3 . 雑誌名 An International Journal, Duke University Press,  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1215/18752160-8233676  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 山中 美智子、吉橋 博史、本田 まり、水野 誠司、柘植 あづみ	2020年 6.最初と最後の頁 35-59  査読の有無 有  国際共著 該当する  4.巻 7
Data Reporting as Care Infrastructure: Assembling ART Registries in Japan, Taiwan, and South Korea, East Asian Science, Technology and Society  3 . 雑誌名 An International Journal, Duke University Press,  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1215/18752160-8233676  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 山中 美智子、吉橋 博史、本田 まり、水野 誠司、柘植 あづみ  2 . 論文標題	2020年 6.最初と最後の頁 35-59  査読の有無 有  国際共著  該当する  4.巻 7
Data Reporting as Care Infrastructure: Assembling ART Registries in Japan, Taiwan, and South Korea, East Asian Science, Technology and Society  3.雑誌名 An International Journal, Duke University Press,  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1215/18752160-8233676  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 山中 美智子、吉橋 博史、本田 まり、水野 誠司、柘植 あづみ  2.論文標題 出生前検査と遺伝カウンセリング:過去~現状~未来に向けて	2020年 6.最初と最後の頁 35-59  査読の有無 有  国際共著 該当する  4.巻 7  5.発行年 2021年
Data Reporting as Care Infrastructure: Assembling ART Registries in Japan, Taiwan, and South Korea, East Asian Science, Technology and Society  3.雑誌名 An International Journal, Duke University Press,  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1215/18752160-8233676  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 山中 美智子、吉橋 博史、本田 まり、水野 誠司、柘植 あづみ  2.論文標題 出生前検査と遺伝カウンセリング:過去~現状~未来に向けて  3.雑誌名	2020年 6.最初と最後の頁 35-59  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 7  5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁
Data Reporting as Care Infrastructure: Assembling ART Registries in Japan, Taiwan, and South Korea, East Asian Science, Technology and Society  3.雑誌名 An International Journal, Duke University Press,  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1215/18752160-8233676  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 山中 美智子、吉橋 博史、本田 まり、水野 誠司、柘植 あづみ  2.論文標題 出生前検査と遺伝カウンセリング:過去~現状~未来に向けて	2020年 6.最初と最後の頁 35-59  査読の有無 有  国際共著 該当する  4.巻 7  5.発行年 2021年
Data Reporting as Care Infrastructure: Assembling ART Registries in Japan, Taiwan, and South Korea, East Asian Science, Technology and Society  3.雑誌名 An International Journal, Duke University Press,  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1215/18752160-8233676  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 山中 美智子、吉橋 博史、本田 まり、水野 誠司、柘植 あづみ  2.論文標題 出生前検査と遺伝カウンセリング:過去~現状~未来に向けて  3.雑誌名	2020年 6.最初と最後の頁 35-59  査読の有無 有  国際共著 該当する  4.巻 7  5.発行年 2021年  6.最初と最後の頁
Data Reporting as Care Infrastructure: Assembling ART Registries in Japan, Taiwan, and South Korea, East Asian Science, Technology and Society  3 . 雑誌名 An International Journal, Duke University Press,  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1215/18752160-8233676  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 山中 美智子、吉橋 博史、本田 まり、水野 誠司、柘植 あづみ  2 . 論文標題 出生前検査と遺伝カウンセリング: 過去~現状~未来に向けて  3 . 雑誌名 聖路加国際大学紀要	2020年 6.最初と最後の頁 35-59  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 7 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 76-85
Data Reporting as Care Infrastructure: Assembling ART Registries in Japan, Taiwan, and South Korea, East Asian Science, Technology and Society  3.雑誌名 An International Journal, Duke University Press,  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1215/18752160-8233676  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 山中 美智子、吉橋 博史、本田 まり、水野 誠司、柘植 あづみ  2.論文標題 出生前検査と遺伝カウンセリング:過去~現状~未来に向けて  3.雑誌名	2020年 6.最初と最後の頁 35-59  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 7  5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁
Data Reporting as Care Infrastructure: Assembling ART Registries in Japan, Taiwan, and South Korea, East Asian Science, Technology and Society  3 . 雑誌名 An International Journal, Duke University Press,  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1215/18752160-8233676  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 山中 美智子、吉橋 博史、本田 まり、水野 誠司、柘植 あづみ  2 . 論文標題 出生前検査と遺伝カウンセリング: 過去~現状~未来に向けて  3 . 雑誌名 聖路加国際大学紀要	2020年 6.最初と最後の頁 35-59  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 7 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 76-85
Data Reporting as Care Infrastructure: Assembling ART Registries in Japan, Taiwan, and South Korea, East Asian Science, Technology and Society  3 . 雑誌名 An International Journal, Duke University Press,  掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1215/18752160-8233676  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 山中 美智子、吉橋 博史、本田 まり、水野 誠司、柘植 あづみ  2 . 論文標題 出生前検査と遺伝カウンセリング: 過去~現状~未来に向けて  3 . 雑誌名 聖路加国際大学紀要	2020年 6.最初と最後の頁 35-59  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 7 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 76-85
Data Reporting as Care Infrastructure: Assembling ART Registries in Japan, Taiwan, and South Korea, East Asian Science, Technology and Society  3 . 雑誌名 An International Journal, Duke University Press,  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1215/18752160-8233676  オープンアクセス  オープンアクセスとしている (また、その予定である)  1 . 著者名 山中 美智子、吉橋 博史、本田 まり、水野 誠司、柘植 あづみ  2 . 論文標題 出生前検査と遺伝カウンセリング: 過去~現状~未来に向けて  3 . 雑誌名 聖路加国際大学紀要  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.34414/00016401	2020年 6.最初と最後の頁 35-59  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 7 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 76-85  査読の有無 有
Data Reporting as Care Infrastructure: Assembling ART Registries in Japan, Taiwan, and South Korea, East Asian Science, Technology and Society  3 . 雑誌名 An International Journal, Duke University Press,  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1215/18752160-8233676  オープンアクセス	2020年 6.最初と最後の頁 35-59  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 7 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 76-85
Data Reporting as Care Infrastructure: Assembling ART Registries in Japan, Taiwan, and South Korea, East Asian Science, Technology and Society  3 . 雑誌名 An International Journal, Duke University Press,  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1215/18752160-8233676  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 山中 美智子、吉橋 博史、本田 まり、水野 誠司、柘植 あづみ  2 . 論文標題 出生前検査と遺伝カウンセリング: 過去~現状~未来に向けて  3 . 雑誌名 聖路加国際大学紀要  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.34414/00016401	2020年 6.最初と最後の頁 35-59  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 7 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 76-85  査読の有無 有

1.著者名	4 . 巻
柘植あづみ	59
2	F 36/-/-
2.論文標題	5 . 発行年
性と生の人権としての性教育をめざして	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
児童心理学の進歩	
光重心理学の進歩	205-210
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
<b>な</b> し	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
佐野敦子	19
2 给价值的	r
2.論文標題	5.発行年
メルケル政権下の男女平等報告書とドイツ初の男女平等戦略 時代の転機を次の社会のデザインにつなげ     るには	2021年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科	16-29
   掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
	且 説の 行 無 無
'& ∪	***
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	
1.著者名	4 . 巻
佐野敦子	11
6 4A-1-17-17	- 7V./- h-
2 . 論文標題	5 . 発行年
国立女性教育会館におけるeラーニング事業 第4期中期計画の取組と今後の展開にむけた課題	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
NWEC実践研究 「学校教育とジェンダー平等」	186-202
	.50 202
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	4 . 巻
佐野敦子	18
2.論文標題	5 . 発行年
2 . 調又信題	
クェファールつのにMI#X啊 - F1 フリナンツル发合Cンエフツー半寺推進 -	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
国際ジェンダー学会誌	39-63
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	本性の方無
	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-

. ***	1 . "
1 . 著者名	4 . 巻
Atsuko, Sano	88
2.論文標題	5 . 発行年
·····	
E-LEARNING AND GENDER A PROPOSAL FOR THREE TYPES OF COLLABORATION	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
The Digital Transformation Implications for the Social Sciences and the Humanities,	20-23
Miscellanea,	
掲載論文のDOI ( デジタルオブジェクト識別子 )	   査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
4 ++++ /2	, yr
1.著者名	4 . 巻
齋藤圭介	33
2.論文標題	5 . 発行年
男性の生殖経験とは何か   育児に積極的にかかわっている男性へのインタビュー調査から	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
<b>年報社会学論集</b>	157-168
I TAI上公 J TIMT不	107 100
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
	四际六百
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	4 . 巻
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	62
/서 I/주 / I	
2.論文標題	5.発行年
第9回 学生にとって,社会調査の魅力とは何か	2020年
	·
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of the Atomic Energy Society of Japan	294 ~ 294
	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3327/jaesjb.62.5_294	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	·
1 . 著者名	4 . 巻
齋藤圭介	62
2	F 38/-/T
2.論文標題	5.発行年
第10回 質問紙調査の魅力と落とし穴	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of the Atomic Energy Society of Japan	401 ~ 401
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3327/jaesjb.62.7_401	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアラゼス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	三

1 . 著者名 齋藤圭介	4.巻 62
2.論文標題 第11回 社会調査とプライバシーの微妙なバランス	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 Journal of the Atomic Energy Society of Japan	6 . 最初と最後の頁 606~606
掲載論文のD01(デジタルオブジェクト識別子) 10.3327/jaesjb.62.10_606	査読の有無無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
	1
1 . 著者名 	4.巻 156
2.論文標題 研究例会 理論という実践 ジェンダー理論は社会正義を語れるか(企画趣旨文)	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 関東社会学会ニュース	6.最初と最後の頁 4-5
   掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)   なし	査読の有無無無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
〔学会発表〕 計45件(うち招待講演 13件 / うち国際学会 12件) 1.発表者名	
章野摂子 	
2.発表標題 中絶をめぐる医療・社会(3) 出生前検査に対する躊躇と中絶への態度	
3.学会等名 第96回日本社会学会	
4 . 発表年 2023年	
1. 発表者名 Setsuko SUGANO	
2.発表標題	
Attitudes of Obstetricians and Gynecologist towards Prenatal Testing and Abortion in Japan	

XX ISA World Congress of Sociology(国際学会)

4 . 発表年 2023年

1. 発表者名
<b>菅野摂子</b>
2 . 発表標題 人工妊娠中絶をめぐる社会運動と法制度 日・独・英・アイルランドの女性の中絶経験の表現と社会運動 「日本の中絶の語りを辿っ
τ,
3.学会等名
3 . 子云守石 第49回日本保健医療社会学会大会
4.発表年
2023年
1.発表者名
<b>菅野摂子・佐野敦子</b>
2 . 発表標題 ドイツの政権交代とリプロダクティブ・ヘルス&ライツ ードイツの産科医療の概要ー
3.学会等名 PND研究会(信州大学)(招待講演)
4.発表年
2023年
1.発表者名
柘植あづみ
2 . 発表標題 大会長講演「「生き延びる」ための生命倫理 生殖技術を題材に」
人会技術機・・生き延びる」だめの主叩補理 生殖技術を超材に」
3 . 学会等名 日本生命倫理学会第35回年次大会
4.発表年 2023年
1.発表者名
柘植あづみ
2.発表標題
シンポジウムオーガナイザー「着床前遺伝学的検査(PGT-M)の倫理について考える」
3.学会等名
日本生命倫理学会第35回年次大会
4 . 発表年 2023年

1.発表者名 齋藤圭介
2 . 発表標題 中絶をめぐる医療・社会 (4) 中期中絶を夫婦の問題として再定義する医療者の実践とそのロジック
3.学会等名
4 . 発表年 2023年
1.発表者名 齋藤圭介
2.発表標題
夫婦の問題として再定義される中絶 出生前診断を経た中期中越をめぐる医師のロジックに着目して
3 . 学会等名 国際ジェンダー学会(医療とジェンダー分科会)
4 . 発表年 2023年
1.発表者名 Keisuke SAITO
2 . 発表標題
Assisted Reproductive Technologies Prompt Male Subjectivity in Reproduction: Issues and Controversies Surrounding Elective Abortion
3.学会等名
3 . 字云寺石 XX ISA World Congress of Sociology(国際学会)
4.発表年 2023年
1
1.発表者名 佐野敦子
2.発表標題 アフター・メルケルのジェンダー平等推進:ドイツのジェンダー関連施策の最新報告
3 . 学会等名 立教大学ジェンダーフォーラム 第91回ジェンダーセッション(招待講演)
4 . 発表年 2023年

1.発表者名 佐野敦子
江玉J 子X 丁
2.発表標題
デジタル化時代の民主主義 ドイツの妊娠中絶法制改正の動向から考える課題
3 . 学会等名
九州大学第5回社会包摂デザイン研究会(招待講演)
4.発表年
2023年
1.発表者名 - <del>た取</del> 動ス
佐野敦子
2、艾士+番店
2.発表標題 中絶をめぐる医療・社会 (1) ドイツにおける女性の権利と人工妊娠中絶法制の議論との比較の視点から
Twicevions Ita(i) IIIフにのけるスロッ形型にハエスエスルが下記/A型VixximでいしfXVixxiがで
3.学会等名
3 . 子云寺石 第96回日本社会学会
4 . 発表年
2023年
1.発表者名
Atsuko SANO
2 . 発表標題
How Do the ICT(Technology) Affect to the Discourse on Reproductive Health Rights: A Case Study of Germany and Japan
3.学会等名
XX ISA World Congress of Sociology(国際学会)
4.発表年
2023年
1
1.発表者名 佐野敦子
[T 2] 4V ]
2.発表標題
2 · 光な標題 人工妊娠中絶をめぐる社会運動と法制度 日・独・英・アイルランドの女性の中絶経験の表現と社会運動 「女性の自己決定と中絶のス
ティグマ化を巡ってドイツにおける妊娠中絶法制改正の議論ドイツの政権交代と中絶を行う医師の声からの考察」
3.学会等名
第49回日本保健医療社会学会大会
4 . 発表年 2023年
۷۷۷۶ <del>۱ -</del>

1.発表者名
二階堂祐子
2 . 発表標題 アイルランドにおけるリプロダクティブ・ヘルス/ライツと国民投票運動
アイルフンドにのけるサブロテブティブ・ベルス/フィブと国民投票運動
関西アイルランド研究会第51回例会(招待講演)
2024年
1.発表者名
2.発表標題
中絶をめぐる医療・社会 (2) 胎児の状態を理由とした妊娠中断と法の運用に対する医師の考え
第96回日本社会学会
2023年
Yuko NIKAIDO
2.発表標題
How Ireland Attempted to Avoid Stigma on Disability through the Legalization of Abortion
XX ISA World Congress of Sociology(国際学会)
│ │ 4.発表年
2023年
2.発表標題
人工妊娠中絶をめぐる社会運動と法制度 日・独・英・アイルランドの女性の中絶経験の表現と社会運動 
第49回日本保健医療社会学会大会
2023年

1 . 発表者名 小門穂、洪賢秀、柘植あづみ
2 . 発表標題 出自を知る権利についての考え方とドナー選択 卵子提供を受けた女性へのアンケート調査から
3 . 学会等名 日本生命倫理学会年次大会
4 . 発表年 2022年
1 . 発表者名 柘植あづみ
2 . 発表標題 親になる条件とは 生殖補助技術の法的規制をめぐって
3.学会等名 日本社会学会(招待講演)
4 . 発表年 2022年
1 . 発表者名 Minori Kokado, Hong Hyunsoo, Azumi Tsuge
2 . 発表標題 What do women who try to have children using donated eggs desire?: Analyzing the open-ended responses to a survey
3 . 学会等名 Reconceiving Donor Conception: What are the current challenges and possibilities of responsible donor conception?(国際学会)
4 . 発表年 2022年
1 . 発表者名 Azumi TSUGE, Minori KOKADO, and Hyunsoo HONG,
2 . 発表標題 Consideration of reasons for accepting ART involving egg donation in Japan,
3.学会等名 Reconceiving Donor Conception: What are the current challenges and possibilities of responsible donor conception?(国際学会)
4 . 発表年 2023年

1.発表者名 齋藤圭介
2 . 発表標題 生殖補助技術がもたらす男性の当事者化 男性不妊と選択的中絶をめぐ る論点と争点
3 . 学会等名 日本社会学会(招待講演)
4.発表年 2022年
1.発表者名  菅野摂子
2 . 発表標題 医療のジェンダー化か、ジェンダーの医療化か、そして新たな潮流 - お茶の水女子大学 21世紀COEプログラム「ジェンダー研究のフロンティア」から20年を迎えて-
3.学会等名 国際ジェンダー学会「医療とジェンダー分科会」(招待講演)
4 . 発表年 2023年
1.発表者名 佐野敦子,福田節也,白藤香織
2 . 発表標題 デジタル時代におけるジェンダー平等の実現に向けて
3.学会等名 NWECフォーラムWS (日本女性監視機構:JAWW)(招待講演)
4 . 発表年 2022年
1.発表者名 柘植あづみ
2 . 発表標題 産婦人科医の中絶観
3 . 学会等名 国際ジェンダー学会
4 . 発表年 2022年

1.発表者名       佐野敦子
2 . 発表標題 ドイツの妊娠中絶法制の揺らぎ新政権の『リプロダクティブな自己決定』の重視と妊娠葛藤相談のこれから
3 . 学会等名 国際ジェンダー学会
4 . 発表年
2022年
1.発表者名         二階堂祐子
2.発表標題 アイルランドの妊娠中絶法立法化の議論から考える胎児条項の書き込みに対する医師の考え
3.学会等名 国際ジェンダー学会
2022年
1.発表者名 石黒眞里
2. び主事時
2.発表標題 産婦人科医のキャリアと患者への対応
3 . 学会等名 国際ジェンダー学会
4.発表年
2022年
1.発表者名 菅野摂子
2.発表標題 中期中絶のありようと医師の視覚
3. 学会等名 国際ジェンダー学会
4.発表年
2022年

1.発表者名 齋藤圭介
0 7V-1-1-1-1-1
2 . 発表標題 選択的中絶と男性
3.学会等名
国際ジェンダー学会
4.発表年
2022年
1 . 発表者名 田中慶子、菅野摂子、柘植あづみ
四个後」、 日却次」、1111日の 207
2 . 発表標題 出生前検査を希望するのはどんな女性か 「出生前検査に関する一般男女の意識調査」から
3.学会等名
3 . 子云寺石 第94回日本社会学会大会
4.発表年
2021年
1. 発表者名
菅野摂子、田中慶子、柘植あづみ
2 . 発表標題 人工妊娠中絶に対する男性の態度 「出生前検査に関する一般男女の意識調査」から <b>一</b>
八工及城市前には1ヶるカはツぶ反 山工的1大車にはする 以カメツ忌略剛耳」から一
3 . 学会等名 第94回日本社会学会大会
4 . 発表年
2021年
1.発表者名
TSUGE, Azumi
2.発表標題
Famille, reproduction et genre au Japon: ce que dessine la PMA (生殖補助技術から日本の家族・生殖・ジェンダーを考える)
3.学会等名
La Cite du Genre a le plaisir de vous inviter au lancement de son cycle de conferences internationales (招待講演) (国際学会) (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2021年

1 . 発表者名 柘植あづみ
2.発表標題 「遺伝性の病気がある子どもが生まれる可能性は誰にでもある」ことをいか に伝えるか」
3.学会等名 第45回日本遺伝カウンセリング学会学術集会 シンポジウム 3 pre-conception care, 受胎前に我々はどうサポートすべきか(招待講演) 4.発表年
2021年
1.発表者名 佐野敦子
2 . 発表標題 Women empowerment through ICT: Case studies of Germany and Japan
3.学会等名 The History of Medialization and Empowerment: The Intersection of Women's Rights Activism and the Media(招待講演)(国際学会) 4.発表年
2022年
1.発表者名 齋藤圭介
2 . 発表標題 社会調査で明らかになること/ならないこと(社会・環境部会セッション 2020年度社会・環境部会賞受賞記念講演)
3.学会等名 原子力学会(招待講演)
4.発表年 2021年
1.発表者名 齋藤圭介
2 . 発表標題 UNISA/KANTO FELLOWSHIP PROGRAM IN FOCUS
3.学会等名 ADVANCING JAPAN-AUSTRALIA KNOWLEDGE EXCHANGE IN THE 21 ST CENTURY(国際学会)
4 . 発表年 2021年

1 . 発表者名 菅野摂子、佐藤(佐久間)りか、磯野真帆
2 . 発表標題 リスク社会において"病む"ということ~不確実性の管理をめぐる患者の語り
3 . 学会等名 国際ヘルスヒューマニティ学会(国際学会)
4 . 発表年 2020年
1 . 発表者名 柘植あづみ
2 . 発表標題 出生前検査と遺伝カウンセリング 社会的・倫理的な視点から
3 . 学会等名 日本先天異常学会第60回学術集会(招待講演)
4 . 発表年 2020年
1.発表者名 TSUGE, Azumi
2 . 発表標題 I choose not to undergo prenatal tests to avoid having to make a hard choice,
3 . 学会等名 Association for Asian Studies in Asia Conference(国際学会)
4 . 発表年 2020年
1.発表者名 TSUGE, Azumi
2 . 発表標題 Japan's New Law on Assisted Reproductive Technology': Why Did it Take Almost 20 years for Japan to Approve its First Law Regarding ART?
3 . 学会等名 Sci-Tech Asia Pluralizing the Anthropocene Colloquium(国際学会)
4.発表年 2021年

1.発表者名	1
· 京藤圭介	
2.発表標題	
『社会学評論』は高嶺の花か? 査読誌に投稿する執筆者の属性とその趨勢	
3.学会等名	
3 . 子云寺石   日本社会学会第93回 	
4 . 発表年	
2020年	
1. 発表者名	
<b>京藤圭介</b>	
2 . 発表標題	
社会学への冷笑と羨望 隣接分野からのまなざし(司会)	
3.学会等名	
日本社会学会第93回	
4.発表年	
2020年	
1.発表者名	
一齋藤圭介	
2.発表標題	
理論という実践 ジェンダー理論は社会正義を語れるか(司会)	
関東社会学会研究例会	
4.発表年	
2020年	
〔図書〕 計10件	
「1.著者名   管野摂子	4 . 発行年 2024年
日本リスト	2024-4
2.出版社	5.総ページ数
丸善	769
3.書名	
3 . 青石   ジェンダー事典「出生前検査・診断」	

1.著者名	4 . 発行年
柘植あづみ	2024年
2.出版社	5.総ページ数
丸善	769
3 . 書名	
ジェンダー事典「セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス / ライツ 」	
	•
1 , 著者名	4 . 発行年
柘植あづみ	2024年
2. 出版社	5.総ページ数
メディカルドゥ	228
3.書名	
「第1章 5 .PGTの倫理的・社会的側面」『着床前遺伝学的検査(PGT)の最前線と遺伝カウンセリング』	
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
	J
1 . 著者名	4.発行年
ガプリエル・プレア著、村井理子訳、齋藤圭介解説	2023年
2 . 出版社	5.総ページ数
太田出版	216
3 建名	
3.書名 射精責任	
3.書名 射精責任	
射精責任 	4.発行年
射精責任	4.発行年 2023年
射精責任 	
射精責任 	
1.著者名 佐野敦子	
射精責任 	2023年
1 . 著者名 佐野敦子	2023年 5 . 総ページ数
射精責任  1 . 著者名 佐野敦子  2 . 出版社 春風社	2023年 5 . 総ページ数
1 . 著者名 佐野敦子  2 . 出版社 春風社  3 . 書名	2023年 5 . 総ページ数
射精責任  1 . 著者名 佐野敦子  2 . 出版社 春風社	2023年 5 . 総ページ数
1 . 著者名 佐野敦子  2 . 出版社 春風社  3 . 書名	2023年 5 . 総ページ数
1 . 著者名 佐野敦子  2 . 出版社 春風社  3 . 書名	2023年 5 . 総ページ数

1. 高名名     カ麻 主介     和麻 主角     和麻 主角		
昭和堂   338   338   338   338   338   338   338   338   338   34   34		
1 . 著名名 東京大学B'AIグローバル・フォーラム、板津 木綿子、久野 愛 (佐野敦子が共著)  2 . 出版社 東京大学出版会  3 . 書名 AIから読み解く社会  1 . 著名名 柘榴あづみ  2 . 出版社 みすず書房  3 . 書名 生殖技術と親になること 不妊治療と出生前検査がもたらす葛藤  1 . 著名名 東原大学出版会  3 . 書名 生殖技術と親になること 不妊治療と出生前検査がもたらす葛藤  1 . 著名名 東原大学出版社 みまず書房  5 . 総ページ数 352  2 . 出版社 表現なつ子、森田系太郎、相藤巨、内藤眞弓、菊池栄、佐野敦子、淺野麻由、景山晶子、安齋徹、原田麻 里子、藤井純一、山口典子、萩原ゼミ博士の会  2 . 出版社 三恵社  3 . 書名	昭和堂	
東京大学B'AIグローバル・フォーラム、板津 木綿子、久野 愛(佐野教子が共著)      2 . 出版社 東京大学出版会     3 . 書名     AIから読み解く社会     3 . 書名     AIから読み解く社会     4 . 発行年 2022年     2 . 出版社 カサず書房     3 . 書名     生殖技術と親になること 不妊治療と出生前検査がもたらす葛藤     1 . 著者名		
東京大学出版会  3 . 書名 Alから読み解く社会  1 . 著者名 柘植あづみ  2 . 出版社 みすず書房  3 . 書名 生殖技術と親になること 不妊治療と出生前検査がもたらす葛藤  1 . 著者名 生殖技術と親になること 不妊治療と出生前検査がもたらす葛藤  2 . 出版社 里子、藤井純一、山口典子、萩原ゼミ博士の会  3 . 書名 2 . 出版社 三恵社  3 . 書名		
1 . 著者名	東京大学出版会	
和植あづみ       2022年         2.出版社 みすず書房       5.総ページ数 352         3.書名 生殖技術と親になること 不妊治療と出生前検査がもたらす葛藤         1.著者名 萩原なつ子,森田系太郎,相藤巨,内藤眞弓,菊地栄,佐野敦子,淺野麻由,景山晶子,安齋徹,原田麻 里子,藤井純一,山口典子,萩原ゼミ博士の会       4.発行年 2022年         2.出版社 三恵社       5.総ページ数 272	AIから読み解く社会	
みすず書房       352         3 . 書名 生殖技術と親になること 不妊治療と出生前検査がもたらす葛藤         1 . 著者名 萩原なつ子,森田系太郎,相藤巨,内藤眞弓,菊地栄,佐野敦子,淺野麻由,景山晶子,安齋徹,原田麻 里子,藤井純一,山口典子,萩原ゼミ博士の会       4 . 発行年 2022年         2 . 出版社 三恵社       5 . 総ページ数 272	柘植あづみ	2022年
生殖技術と親になること 不妊治療と出生前検査がもたらす葛藤         1.著者名 萩原なつ子,森田系太郎,相藤巨,内藤眞弓,菊地栄,佐野敦子,淺野麻由,景山晶子,安齋徹,原田麻里子,藤井純一,山口典子,萩原ゼミ博士の会         2.出版社三恵社         3.書名	みすず書房	
萩原なつ子,森田系太郎,相藤巨,内藤眞弓,菊地栄,佐野敦子,淺野麻由,景山晶子,安齋徹,原田麻里子,藤井純一,山口典子,萩原ゼミ博士の会  2.出版社三恵社  3.書名	生殖技術と親になること 不妊治療と出生前検査がもたらす葛藤	
三恵社 272 3 . 書名	萩原なつ子,森田系太郎,相藤巨,内藤眞弓,菊地栄,佐野敦子,淺野麻由,景山晶子,安齋徹,原田麻 里子,藤井純一,山口典子,萩原ゼミ博士の会	2022年
	三惠社	

1 . 著者名 垣内国光、岩田美香、板倉香子、新藤こずえ、菅野摂子、ほか	4 . 発行年 2020年
2.出版社生活書院	5.総ページ数 304
3.書名「生命倫理と母子保健」『子ども家庭福祉 子ども・家族・社会をどうとらえるか 』	

# 〔産業財産権〕

〔その他〕

6.研究組織

6	. 研究組織		
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
	二階堂 祐子	国立民族学博物館・超域フィールド科学研究部・外来研究員	
研究分担者	(Nikaido Yuko)		
	(40831269)	(64401)	
	齋藤 圭介	岡山大学・社会文化科学学域・准教授	
研究分担者	(Saito Keisuke)		
	(60761559)	(15301)	
	石黒 眞里	明治学院大学・社会学部・実験助手	
研究分担者	(Ishiguro Mari)		
	(60833126)	(32683)	
	柘植 あづみ	明治学院大学・社会学部・教授	
研究分担者	(Tsuge Azumi)		
	(90179987)	(32683)	
	佐野 敦子	東京大学・大学院情報学環・学際情報学府・特任研究員	
研究分担者	(Sano Atsuko)		
	(00791021)	(12601)	

6.研究組織(つづき)

	. 妍九組織( ノフさ)		
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	武内 今日子 (Tskeuchi Kyoko)	東京大学・大学院情報学環・特任助教	厚生労働省の医療機能情報提供制度のもと各都道府 県が公開している医療情報サイトの検索機能を用い て,母体保護法指定医師の配置などの調査を行っ た。
	(20980585)	(12601)	
研究協力者	三枝 七都子 (Saigusa Natsuko)	東京大学・新領域創成科学研究科博士後期課程・大学院生	厚生労働省の医療機能情報提供制度のもと各都道府 県が公開している医療情報サイトの検索機能を用い て,母体保護法指定医師の配置などの調査を行っ た。
		(12601)	

# 7 . 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------